Nikon

ニコンデジタルカメラ

COOLPIX 3200 2200

クールピクス **3200/2200**

使用説明書

商標説明

- Microsoft®およびWindows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、Power Macintosh、PowerBook、iMac、iBook、QuickTimeは米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDロゴおよびPictBridgeロゴは商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）

 分解禁止	**分解したり修理・改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
 接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターに修理を依頼してください。

⚠ 警告（カメラについて）

電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターに修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
使用禁止	**引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。
見ないこと	**レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと** 失明や視力障害の原因となります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。
保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
警告	**指定の電池または専用ACアダプタを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。
使用禁止	**ACアダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は幼児の手の届かないところに置くこと** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、電源をOFFにするか、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。
禁止 プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池やACアダプタ）を外すこと** 電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 ACアダプタで使用されている場合には、ACアダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
使用注意	**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。 病院で使う際も、病院の指示に従ってください。
禁止	**本機器やACアダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠ 危険（リチウム電池について）

危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（リチウム電池について）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池に表示された警告・注意を守ること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
保管注意	**電池は幼児の手の届かない所に置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
警告	**電池の「＋」と「－」の向きをまちがえないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
禁止	**充電式電池以外は充電しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

⚠ 危険（アルカリ乾電池・ニッケルマンガン電池・ニッケル乾電池について）

危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（アルカリ乾電池・ニッケルマンガン電池・ニッケル乾電池について）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池に表示された警告・注意を守ること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
保管注意	**電池は幼児の手の届かない所に置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
警告	**電池の「+」と「−」の向きをまちがえないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
禁止	**充電式電池以外は充電しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**使い切った電池はすぐにカメラから取り出すこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。
警告	**外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池からもれた液が皮膚・衣服へついたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 危険（ニッケル水素電池について）

使用禁止	リチャージャブルバッテリー**EN-MH1**は、**COOLPIX**用**Ni-MH**電池**2**本を使用するニコンデジタルカメラ専用の充電式電池です この機器以外には使用しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	専用のチャージャーを使用して**2**本セットで同時に充電すること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	電池を火に入れたり、加熱しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	電池の「＋」と「－」の向きをまちがえないようにすること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	電池をショート、分解しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（ニッケル水素電池について）

 警告	外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと また、外装チューブがはがれたり、キズがついている電池は絶対に使用しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 警告（ニッケル水素電池について）

警告	**電池に表示された警告・注意を守ること** 液もれ、破裂、発火の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
保管注意	**電池は幼児の手の届かない所に置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池からもれた液が皮膚・衣服へついたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはテープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターやリサイクル協力店へご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。
警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 注意（ニッケル水素電池について）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

目次

安全上のご注意 1

はじめに 10
お使いになる前に 10
ご確認ください 11
各部の名称 12
液晶モニタについて 14
モードダイヤルについて 16
メニュー操作時のマルチセレクターの使い方 17
シャッターボタンの半押し方法 17

撮影前の準備 18
電池を入れます 18
SD カードを入れます 20
電源を ON にして、電池の残量を確認します 22
日付と時刻を設定します 24

撮影の基本ステップ 26
1. モードダイヤルを [カメラ] (オート撮影) モードにセットします 26
2. カメラを構え、構図を決めます 28
3. ピントを合わせて撮影します 30
4. 撮影した画像を確認します (1 コマ再生モード) 32

いろいろな撮影 34
暗いところでは—スピードライトの使い方 34
自分も一緒に写すには—セルフタイマーの使い方 36
手軽に接写するには—マクロモードの使い方 37
シーンモードについて 38
アシスト機能付きシーンモード 39
SCENE シーンモード 44

いろいろな再生 50
カメラで再生する 50
画像をトリミングする 52
音声メモを録音 / 再生する (E3200 のみ) 53
テレビで再生する 54
パソコンで再生する 55
画像をプリントする (プリント指定) 58
画像をプリントする (ダイレクトプリント) 62

動画の撮影と再生 66
[動画] 動画の撮影 66
動画の再生 70

撮影メニュー 71
撮影メニューについて 71
画像モード 73
ホワイトバランス 75
露出補正 77
連写 78
BSS 79
ピクチャーカラー 80

再生メニュー 81
再生メニューについて 81
スライドショー 82
削除 83
プロテクト設定 85
転送マーク設定 86
スモールピクチャー 88
画像コピー 89

セットアップメニュー 92
セットアップメニューについて 92
オープニング画面 93
日時設定 94
モニタ設定 96
デート写し込み 97
画面の明るさ 99
操作音 100
手ブレお知らせ 101
オートパワーオフ 102
メモリ / カードの初期化 103
表示言語 /LANGUAGE 104
ビデオ出力 104
設定クリア（初期設定） 105
電池設定 106
バージョン情報 106

付録 107
別売アクセサリー 107
カメラのお手入れ方法 108
カメラの取り扱い上のご注意 109
電池の取り扱いについて 110
警告メッセージについて 111
故障かな？と思ったら 115
主な仕様 118
索引 121
アフターサービスについて 124

お使いになる前に

このたびは、ニコンデジタルカメラCOOLPIX3200/COOLPIX2200をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この使用説明書はデジタルカメラCOOLPIX3200/COOLPIX2200で撮影をお楽しみいただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。

●本文中のイラスト・マークについて

イラストには、COOLPIX3200を使用しています。COOLPIX2200で異なる点については明記しています。

カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。

カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。

カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。

関連情報を記載した参照ページを記載しています。

●製品名の記載について

本書ではCOOLPIX3200、COOLPIX2200の各製品名をE3200、E2200と略しています。

●「初期設定」について

本書では、カメラご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。

●画面例について

本書では、液晶モニタ画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

●内蔵メモリとSDメモリーカードについて

本機は、内蔵メモリとSDメモリーカードの両方に対応しています。SDメモリーカードをカメラにセットしているときは、SDメモリーカードが優先して使用されます。内蔵メモリに対して、撮影、再生、削除、初期化などの操作をするときは、SDメモリーカードをカメラから取り出してください。

●SDメモリーカードの表記について

本書では、以降SDメモリーカードを略してSDカードと表記しています。

ご確認ください

●保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

• カスタマ登録は下記のホームページからも登録できます。

http://reg.nikon-image.com

●使用説明書について

• この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、堅くお断りいたします。
• 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
• 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターにて新しい使用説明書をお求めください（有料）。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプタなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合せでご使用ください。

• 他社製品との組み合せ使用により、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

各部の名称

電源ランプ（23）
電源スイッチ（22）
スピーカー（E3200のみ）
スピードライト（34）
シャッターボタン（17、30）
マイク（E3200のみ）
ファインダー
セルフタイマーランプ（36）/赤目軽減ランプ（E3200のみ）（34）/AF補助光（E3200のみ）（35、109、118）
ストラップ取り付け部
SDメモリーカードカバー（20）
レンズ（108、118）
ACアダプタ接続用パワーコネクタカバー

ストラップの取り付け方

スピードライトランプ（赤色）（30）
モードダイヤル（16）
ズームボタン（/Q）（28）
MENUボタン（71、81）
AFランプ（緑色）（30）
マルチセレクター
（17、55）
ファインダー（29）
削除ボタン（32、50、51、53）
（再生）ボタン（23、32、50）
液晶モニタ（29）
電池室カバー（18）
電池室カバー
ロック解除ボタン（18）
三脚ネジ穴
端子カバー（54、56）
端子カバー
USB端子（56、62）
A/V OUT オーディオビデオ出力端子（E3200）/
VIDEO OUT ビデオ出力端子（E2200）（54）

液晶モニタについて

■撮影時

1	オート撮影モード .... 26 シーンモード .... 44 動画モード 66	**12**	誕生日カウンター/ 日付登録番号表示 98
2	AE-L表示[1] 49	**13**	撮影可能コマ数 .... 26 動画撮影可能時間 66
3	AF表示[2] 30	**14**	スピードライトモード 34
4	ズーム表示[3] 28	**15**	画像モード .... 73、74
5	バッテリーチェック[4] 22	**16**	露出補正マーク/露出補正値 .. 77
6	内蔵メモリ/SDカード表示 26	**17**	感度表示[7] 35
7	手ブレ警告[5] 35	**18**	連写モード 78
8	ワールドタイム 95	**19**	BSS 79
9	時計マーク[6] 25	**20**	ホワイトバランス 75
10	セルフタイマー/ カウントダウン表示 36	**21**	ピクチャーカラー 80
11	デート写し込み 97	**22**	マクロモード 37

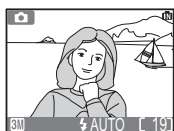
1) パノラマアシスト撮影時に表示
2) 半押し時に表示
3) ズーム操作時に表示
4) バッテリー残量が少なくなったときに表示
5) シャッタースピードが遅いときに表示
6) 日時が設定されていないときに点滅
7) カメラが自動的に感度を上げているとき
に表示

■再生時

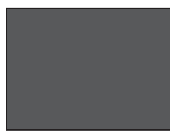
1	フォルダ名	33
2	ファイル名	33
3	内蔵メモリ/SDカード表示	26
4	バッテリーチェック1)	22
5	音量表示2)	70
6	音声メモ録音ガイド2)	53
7	音声メモ再生ガイド2)	53
8	表示画像コマ番号/総画像コマ数	32
	動画再生時間	70
9	動画再生表示	70
10	音声メモ表示2)	53
11	画像モード	73、74
12	動画モード	67
13	プロテクト表示	85
14	プリント表示	63
15	転送マーク	86
16	撮影時間	24
17	撮影日付	24

1) バッテリー残量が少なくなったときに表示
2) E3200のみ表示

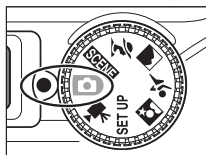
液晶モニタの表示について

セットアップメニューの「モニタ設定」を使って、撮影および再生時の撮影情報の表示・非表示を切り換えることができます（96）。

撮影情報を表示

撮影情報を非表示

方眼

液晶モニタ消灯

スピードライト充電中は、常に液晶モニタは消灯します（30）。

モードダイヤルについて

モードを切り換えるときは、使用するモードのアイコン（絵文字）を左側の⦿マークに合わせます。

オート撮影モード

（26、71）

撮影を行うときのモードです。6種類の撮影メニューを自由に設定して撮影意図に合った撮影も可能です。

動画モード

（66～70）

3種類の動画を撮影できます。E3200の場合は音声付き動画、E2200の場合は音声なし動画になります。

SCENE シーンモード

（38、44～49）

パーティーや夜景など11種類のシーンに応じた最適な設定で撮影できます。

SET UP

SET UP セットアップモード

（92）

セットアップメニューがモニタに表示されます。日時設定や画面の明るさなどを設定します。

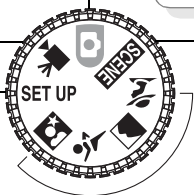
ポートレートモード

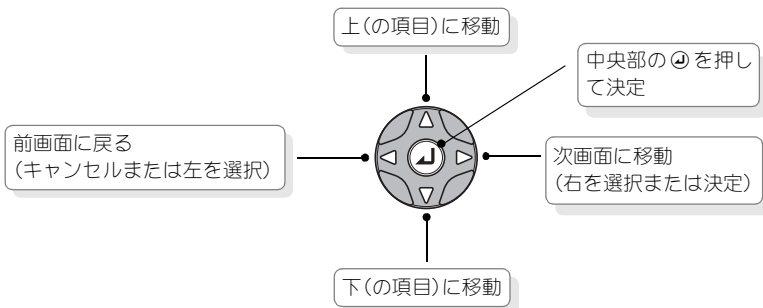
風景モード

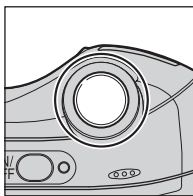
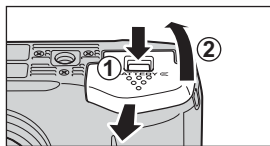
スポーツモード

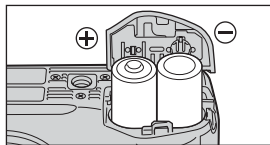
夜景ポートレートモード

アシスト機能が付いたシーンモードで撮影できます。

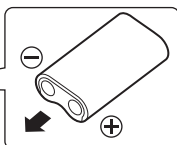
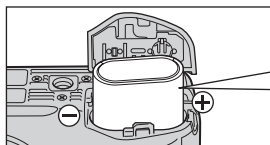
（38～43）

メニュー操作時のマルチセレクターの使い方

メニューは、マルチセレクターを使用して項目の選択、選択した項目の決定、キャンセルを行います。

シャッターボタンの半押し方法

シャッターボタンを軽く押して、途中で止める動作を「シャッターボタンを半押しする」といいます。シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、AFランプが点灯し、液晶モニタにAF表示が緑色に点灯します。半押し中は、ピントと露出が固定されます。半押しした状態から、さらに深く押し込むと、シャッターがきれます。

電池を入れます

1 電池室カバーを開けます。

- PUSH ボタンを押しながらスライドさせ（①）、電池室カバーを開けます（②）。

単三形電池の場合

2 電池を入れます。

- 電池室内にある図に合わせて、＋と－の方向を正しく入れてください。

CR-V3の場合

3 電池室カバーを閉じます。

- カバーを閉じて(①)、スライドさせます(②)。
- カバーがしっかりと閉じていることを確認してください。

このカメラには以下の電池が使用できます。

- 単三形アルカリ乾電池（LR6）2本（同梱電池）
- ニコン リチャージャブルバッテリー（EN-MH1）（単三形ニッケル水素電池）2本（☞107）
- 単三形ニッケル乾電池／ニッケルマンガン電池（ZR6）2本
- 単三形リチウム電池（FR6/L91）2本
- CR-V3型リチウム電池 1本

[重要]電池設定について

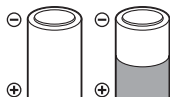
このカメラは、使用電池の種類をカメラに設定することで電池を効率よく使うことができます。初期設定では、アルカリ乾電池の種類に設定されています。アルカリ乾電池以外の電池をご使用になるときには、電源をONにしてから電池設定を変更してください(☞106)。

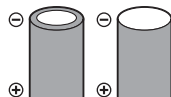
電池についてのご注意

- 電池を取り出す場合は、カメラの電源をOFFにして、電源ランプが消灯していることを確認してから取り出してください。
- 電池を入れる際は「安全上のご注意」の「警告」、「危険」、「注意」（1～7）や「電池の取り扱いについて」（110）の注意事項を必ずお守りください。

このような形状の電池はご使用になれません

- 外装シール（絶縁被覆）を一部またはすべて剥がしている電池や、破れている電池を使用すると、液漏れ、発熱、破裂の原因となります。絶対に使用しないでください。
- 市販されているままの状態でも、電池によっては外装シールが充分でないものがあります。このような電池も絶対に使用しないでください。

使用できない電池の形状

外装シールの一部またはすべてが剥がしてある電池

マイナス電極の一部が膨らんでいるが、外装シールが側面だけの電池

マイナス電極が平らな電池（マイナス電極が外装シールで覆われていても、覆われていなくても使用できません。）

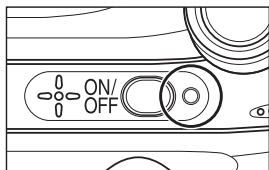
アルカリ乾電池の性能について

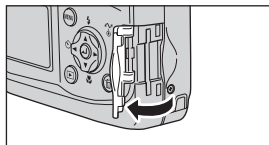
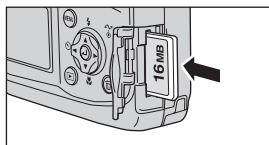
アルカリ乾電池はメーカーにより性能が大きく異なる場合がありますので、信頼できるメーカーの電池をご使用ください。

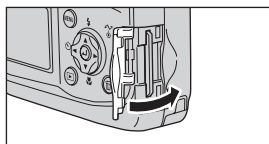
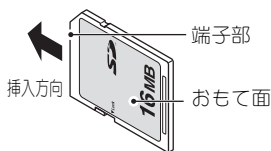
使用できるその他の電源について

再生時やパソコンとの接続時などカメラを長時間ご使用になる場合は別売のACアダプタEH-62B（107）のご使用をおすすめします。ACアダプタを使用すると、家庭用電源（AC100V）からE3200/E2200へ電源を供給することができます。EH-62B以外のACアダプタは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

SDカードを入れます

撮影した画像は、カメラの内蔵メモリ（約14.5MB）または市販のSDカードに記録されます。
SDカードをカメラにセットしていない場合は、内蔵メモリに記録されます。
SDカードをカメラにセットすると、自動的にSDカードに記録されます。
内蔵メモリに記録したいときは、必ずSDカードを取り出してから行ってください。

1 カメラの電源が**OFF**になっていることを確認します。

- 電源ランプが消灯していることを確認してください。

2 **SD**カードカバーを開けます。

3 **SD**カードを入れます。

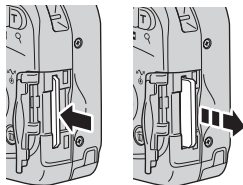
- SDカードを図のように差し込み、矢印方向にしっかりと奥まで挿入します。傾けずに真直ぐ入れてください。
- SDカードを装着するときには、SDカードの端子側からカメラに挿入してください。
- 向きを間違えて装着すると、カメラおよびSDカードを破損するおそれがあります。正しい方向で挿入しているか、再度ご確認ください。

4 **SD**カードカバーを閉めます。

SDカードの初期化

SDカードをはじめてE3200/E2200で使用する場合は、あらかじめSDカードを初期化する必要があります。詳しい手順については、「メモリ/カードの初期化」(103)をご覧ください。

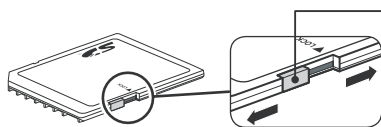
SDカードを取り出すには

SDカードカバーを開け、SDカードを軽く押すと、SDカードが出てきますので、SDカードを取り出してください。

- SDカードを取り出すときも、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

SDカードの取り扱い上のご注意

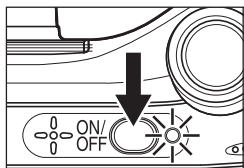
- 使用可能なSDカードについては、「付録　別売アクセサリー」の「推奨SDカード一覧」(107)をご確認ください。
- SDカード以外のメモリカードは使用できません。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなど温度が高くなるところには置かないでください。
- 湿度の高い所やほこりが多いところおよび腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

SDカードの書き込み禁止スイッチについて

SDカードには、書き込み禁止スイッチがついています。このスイッチを「Lock」にすると、データの書き込みや消去が禁止され、カード内の画像等を保護することができます。撮影、画像の編集、削除時には「Lock」を解除してください。

書き込み禁止スイッチ

「Lock」にすると、撮影、編集、削除、カメラの(転送)ボタンによるパソコンへの画像転送(55)はできません。
画像の再生のみ行うことができます。

撮影の準備

電源をONにして、電池の残量を確認します

1 **電源をONにします。**

- モードダイヤルはSET UP以外にセットします。
- 電源スイッチを押します。
- 電源がONになると、電源ランプが点灯します。

2 **液晶モニタに表示されるバッテリーチェック表示を確認します。**

- **はじめて電源をONにした場合**は、次のような表示言語の設定画面（104）が表示されます。言語を確認し、マルチセレクターの中央にあるボタンを押してください。次に、日時設定の画面が表示されます。設定方法は「日付と時刻を設定します」（24）をご覧ください。

表示言語/LANGUAGE

Deutsch	Nederlands
English	Svenska
Español	日本語
Français	中文(简体)
Italiano	한글

MENU キャンセル 決定

- 電池の残量を確認する前に電池の種類を設定します。必ず設定してください。（106）。

バッテリーチェック表示

表 示	意 味	カメラの状態
表示なし	電池の残量は充分です。	撮影可能
（点灯）	電池の残量が少なくなりました。電池交換の準備をしてください。	撮影可能
電池残量がありません。	電池の残量がなくなりました。新品または充電済みの電池と交換してください。	撮影できません

※ 電池の残量がなくなる直前には、スピードライトランプとAFランプが同時にゆっくりと点滅し、「電池残量がありません」という警告メッセージ（111）が表示されます。

カメラの電源をOFFにするときには

電源ランプが点灯しているときに、電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。

- 電源ランプが消灯するまで電池を取り出したりACアダプタ EH-62Bを外したりしないでください。

▶ボタンによる電源ON

▶ボタンを1秒以上押しつづけた場合も電源がONになります。この場合は直接1コマ再生モード（32）に入ります。

電源ランプについて

電源ランプは、次の状態を表しています。

- 電源ランプ点灯：電源ON
- 電源ランプ点滅：オートパワーオフ機能（23）作動中
- 電源ランプ消灯：電源OFF

オートパワーオフ機能（低消費電力モード）

カメラの電源をONにして、なにも操作しないで約1分（初期設定）経過すると、バッテリーの消耗を抑えるためにオートパワーオフ機能が作動し、液晶モニタが消灯します。オートパワーオフ機能の作動中は電源ランプが点滅します。オートパワーオフ機能が作動してからなにも操作しないで約3分経過すると、自動的に電源がOFFになり、電源ランプが消灯します。オートパワーオフ状態は次の操作で電源ONの状態に戻ります。

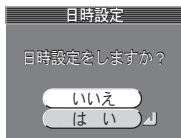
- 電源スイッチを押す。
- シャッターボタンを半押しする。
- ▶ボタンを押す（1コマ再生モードになります。）
- **MENU**ボタンを押す（各モードのメニュー画面が表示されます。）
- モードダイヤルを回す（設定したモードに入ります）。

オートパワーオフ機能が作動するまでの時間は、セットアップメニューの「オートパワーオフ」から30秒、1分、5分、30分のいずれかに設定できます（102）。ただし、メニュー画面またはセットアップメニューが表示されている場合は3分に、スライドショーを自動繰り返し再生している場合（82）、またはACアダプタ EH-62Bを使用している場合は30分に固定されます。

スリープモード

スリープモードをONに設定すると、オートパワーオフで設定している時間以内でも、被写体の明るさに変化のない状態が続くと、オートパワーオフに入ります（102）。

日付と時刻を設定します

はじめてカメラの電源をON にしたときは、表示言語の設定画面で⏎ボタンを押した後、日時設定の画面が自動的に表示されます。以下の手順にしたがって日時を設定してください。

マルチセレクターの▼を押して、「はい」を選択します。

- 「いいえ」を選択すると日時設定をせずにモードダイヤルに対応した画面に切り換わります。

2

⏎を押します。ワールドタイムの設定画面に切り換わります。

3

▼を押すと、夏時間を設定できます。

- 夏時間を設定しない場合は、そのまま手順4 へお進みください。
- 夏時間を設定する場合は、「夏時間」を選択して⏎を押します。□に✔が入ります。
- ⏎ を押すたびに、夏時間の□と☑が切り換わります。
- 夏時間を設定後、マルチセレクターの▲を押して都市名の項目に戻ります。

4

▶を押します。自宅の設定画面に切り換わります。

5

◀または▶を押して自宅のあるタイムゾーンを選択します。

6

⏎を押します。自宅のあるタイムゾーンが決定して日時設定の画面に切り換わります。

夏時間について

夏時間とは、夏の間だけ1 時間繰りあげて、日中の明るい時間を有効利用する趣旨で、現在約70 ヶ国で採用している制度です。ワールドタイムの夏時間を設定すると、時刻が1 時間進みます。ただし、日本国内では設定する必要がありません。

7

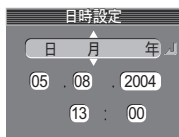
「年」が点滅しています。▲または▼で年を合わせます。

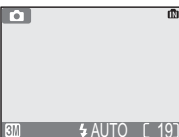
8

▶を押して、「月」の設定に移ります。**7**と**8**の手順を繰り返して、月、日、時、分を順番に選択し、現在の日付・時刻に合わせます。

9

↵を押します。「年月日」の位置が点滅します。

10

▲または▼で「年月日」「月日年」「日月年」の中から、日付の表示順を選択します。

11

↵を押します。日時が決定して、モードダイヤルに対応した画面に切り換わります（例は📷モード時）。

日時を設定しないときは

日付と時刻が設定されていない場合は、撮影時に液晶モニタの右上に時計マーク（◷）が点滅し（14）、撮影した画像の撮影日時情報には「0000.00.00 00:00」（静止画）、または「2004.01.01 00:00」（動画）と記録されます。

バックアップ電池について

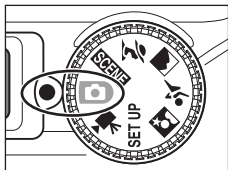
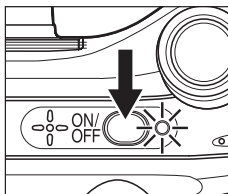
バックアップ電池は電池やACアダプタでカメラに電源が供給されていると、約10時間で充電されます。充電が完了すると、カメラの電池を取り出したり、ACアダプタをはずしても、記憶された日時は数日間保持されます。

- バックアップ電池の充電が不充分な場合は、一度セットした日時データが失われることがあります。

PictureProjectによる日時の自動設定

ご使用のパソコンのOSがWindows XPまたはMac OS Xの場合、カメラのセットアップメニューの「USB」を「PTP」に設定してカメラとパソコンを接続すると（55）、同梱のPictureProjectを使用してパソコンに設定されている日付と時刻を自動的にカメラに設定することができます。詳しくは、PictureProjectリファレンスマニュアルをご覧ください。

1.モードダイヤルを📷(オート撮影)モードにセットします

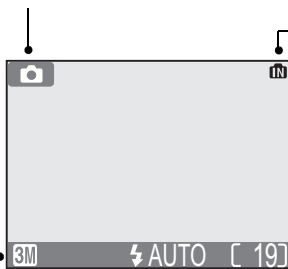
📷（オート撮影）モードにセットすると、撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的にセットされるので、はじめてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

1 カメラのモードダイヤルを📷に合わせます。

2 カメラの電源をONにします。

- 電源をONにすると電源ランプが点灯し、液晶モニタにオープニング画面（93）が表示されたあと、撮影画面に変わります。

オート撮影モード

オート撮影モード時には📷が表示されます。

画像モード

撮影目的に応じて、5種類（E3200）または4種類（E2200）の画像モードの中から好みのモードに変えられます。初期設定は3M（E3200）または2M（E2200）です。詳しくは、撮影メニューの「画像モード」（73）をご覧ください。

内蔵メモリ/SDカード

SDカードをセットしているときは□が、セットしていないときはIN（内蔵メモリ）が表示されます。

スピードライトモード

撮影目的や意図に合わせて5種類のスピードライトモードから選択できます。初期設定はAUTO（オート）（34）です。

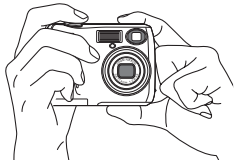
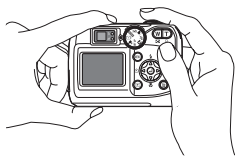
撮影可能コマ数

撮影可能コマ数は、内蔵メモリまたは装着しているSDカードの残量（メモリ残量）と画像モード（74）によって異なります。

メモリ残量について

内蔵メモリ/SDカードに撮影できるメモリ残量がない場合には、「メモリ残量がありません」という警告メッセージ（112）が表示され、撮影を行うことができません。このときは以下のいずれかの方法で対応してください。

- 画像モードを画像サイズの小さいモードに変更する（73）（変更しても条件によっては撮影できない場合があります）。
- 新しいSDカードをセットする（20）。
- 内蔵メモリ/SDカードに記録されている画像を削除する（83）。

2. カメラを構え、構図を決めます

1 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、カメラは両手でしっかりと持ってください。
- 構図を決めるには、液晶モニタを見ながらでも、ファインダーをのぞきながらでも、どちらでも行えます。

> カメラを構えるときのご注意
>
> カメラ前面のレンズやスピードライト発光部、マイク（E3200のみ）などに指や髪、ストラップ、ACアダプタのコードがかかったりしないように充分に注意してください。

広角側

望遠側

液晶モニタ上部の表示はズームの量を表します。

電子ズーム時

2 構図を決めます。

写したいもの（被写体）を画面の中央に合わせ、構図を決めます。

- このカメラは、3倍のズームレンズを装備しています。ズームボタン（▦（**W**）・🔍（**T**））を押すことにより、撮影する範囲を変更することができます。
- ▦（**W**）ボタンを押すと、レンズが広角側にズーミングして、撮影する範囲が徐々に広くなります。🔍（**T**）ボタンを押すと、レンズが望遠側にズーミングして、被写体を大きく写すことができます。
- 光学ズームを最も望遠側にして、🔍（**T**）ボタンを1秒以上押し続けると、自動的に電子ズームが作動し、光学ズームの最大倍率（3倍）の約4倍（合計12倍）まで拡大することができます。電子ズームが作動すると、ズーム表示が黄色に変わり、AFランプが点滅します。
- 電子ズームをキャンセルするには、ズーム表示が白色に戻るまで▦（**W**）ボタンを押し続けてください。

電子ズームについてのご注意

- 電子ズームはファインダーでは確認できません。必ず液晶モニタで確認してください。
- 電子ズームは、カメラがとらえた画像データをデジタル処理することで、画像の中央部を拡大しています。光学ズームとは違い、画像の中央部分を単に画面全体に拡大するため、粒子の粗い画像になります。
- 液晶モニタ消灯時や「マルチ連写」にセットされているときは、電子ズームは作動しません。

暗い場所で撮影するときの液晶モニタ画面について

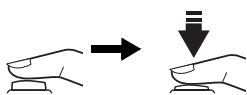
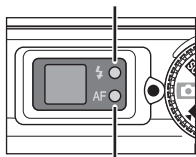
暗い場所で撮影する場合、液晶モニタを見やすくするために通常の撮影時の画面にくらべてざらついた画面になることがあります。

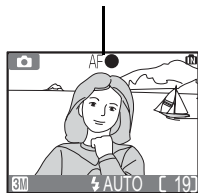
液晶モニタとファインダーについて

次の場合はファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲が異なりますので、液晶モニタで構図を確認してください。

- カメラと被写体の距離が近い場合（特に1m以内の場合）
- 電子ズームを使用する場合（28）

明るい場所で液晶モニタが見えにくいときや、電池の残量が気になる場合などにはファインダーを使った撮影をおすすめします。

3. ピントを合わせて撮影します

スピードライトランプ（赤色）

AFランプ（緑色）

AF表示

1 シャッターボタンを半押しして、ピントが合っていることを確認します。

- シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、半押し中はピントと露出が固定されます。
- ピントはオートフォーカスで、画面中央部にある被写体に合います。

シャッターボタンを半押ししたときのスピードライトランプ、AFランプは次のとおりです。

状態		意味
スピードライトランプ	点灯	シャッターボタンを押し込むと、スピードライトが発光します。
	点滅	スピードライトは充電中です。点灯に変わるまでお待ちください。
	消灯	スピードライトは発光しません。
AFランプ / **AF**表示	点灯	画面中央の被写体にピントが合っています。
	点滅	被写体にピントを合わせることができません。構図を変えて再度ピントを合わせてください。

スピードライト充電中は、常に液晶モニタは消灯します。

2 ゆっくりとシャッターボタンを押し込み、撮影します。

- シャッターボタンを最後まで押し込むと撮影が行われます。
- 撮影時には、シャッター音が鳴ります（初期設定: 100）。
- シャッターボタンを一気に押すと手ブレの原因になります。シャッターボタンはゆっくりと押し込んでください。
- 手ブレお知らせ画面が表示されることがあります（35）。

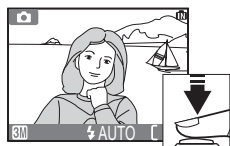
画像記録中についてのご注意

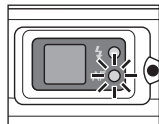
- 画像の記録中は、AF ランプが点滅し、同時に ⌛ マークが点灯またはメモリアイコン（IN/[ ]）が点滅します。
- 画像の記録中は、SDカードを取り出したり、電池を抜いたりしないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影した画像やSDカードがこわれたりする場合があります。
- 液晶モニタに⌛マークが表示されるまでは撮影を続けることができます。

オートフォーカスが苦手な被写体について

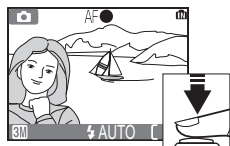
次のような場合、オートフォーカスではピント合わせができないことがあります。
- 被写体が非常に暗い場合
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない場合（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）を撮影する場合
- 動きの速い被写体を撮影する場合

AFロックについて

シャッターボタンを半押しして画面中央部の被写体にピントを合わせ、そのまま半押しを続けると、ピントはそのまま固定（AFロック）されます。AFロックは構図を工夫したい撮影や、オートフォーカスが苦手な被写体（上記参照）の撮影のときなどに便利です。

1 ピントを合わせます。

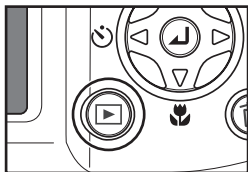
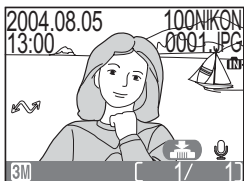
写したいものが画面の中央になるようにカメラを向け、シャッターボタンを半押しします。

2 AFランプを確認します。

ピントが合うと、ファインダーの横のAFランプおよび晶モニタの上にあるAF表示が点灯します。

- シャッターボタンを半押ししている間はピントと露出が固定されます。

3 シャッターボタンを半押ししたまま構図を変えます。

- カメラから被写体までの距離を変えないでください。被写体との距離が変わった場合は、いったんシャッターボタンから指を離し、ピントを合わせなおしてください。

4 シャッターボタンを押し込んで撮影します。

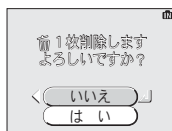
4. 撮影した画像を確認します（1コマ再生モード）

1 ▶ボタンを押します。

2 液晶モニタに再生画面が表示されます。

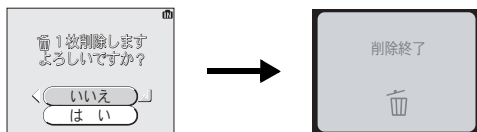
- これを1コマ再生モードといいます。
- マルチセレクターの▲または◀で前画像を見ることができます。▼または▶で次画像を見ることができます。画像を早送りしたい場合はマルチセレクターを押しつづけてください。
- （音声メモ録音ガイド）はE3200のみ表示されます。

1コマ再生モードをキャンセルしてオート撮影モードに戻る場合は、再度▶ボタンを押してください。

表示中の画像を削除する場合

🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▼を押して、「はい」を選択し、Ⓞを押すと、表示された画像が削除されます。

- 「いいえ」を選択してⓄを押すと、画像が削除されずに1コマ再生モードに戻ります。

オート撮影モードで画像を削除する場合

オート撮影モードで🗑ボタンを押すと、最後に撮影した画像が削除できます。確認画面が表示されますので、マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択します。Ⓞを押すと選択が実行されます。

ファイル名とフォルダ名

E3200/E2200で撮影した画像または画像編集を行った画像は、カメラが自動的に作成するファイル名で保存されます（例：DSCN0001.JPG）。最初の4文字は識別子を表しており、次の4桁の番号は撮影順に連番でつけられます（最初の4文字はカメラの液晶モニタには表示されません。パソコンに画像を転送した場合に確認できます）。各ファイル名の最後には、画像のタイプを示す拡張子がつきます。

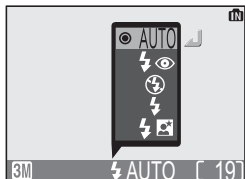
画像のタイプ		識別子	拡張子	📖
撮影した画像	静止画	DSCN	.JPG	32
	動画	DSCN	.MOV	63
画像編集を行った画像	スモールピクチャー	SSCN	.JPG	52
	トリミングで作成された画像	RSCN	.JPG	53
静止画に付けた音声メモ（E3200のみ）	音声メモ	DSCN SSCN RSCN	.WAV	53

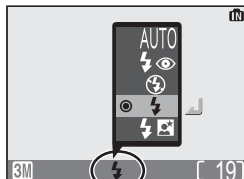
- ファイルを保存するフォルダはカメラが自動的に作成し、フォルダ名には3桁のフォルダ番号がつけられます（例：100NIKON）。
- ひとつのフォルダ内に200コマの画像がある場合には、フォルダ番号に1を加えた新しいフォルダ（例：100NIKON→101NIKON）を自動的に作成します。
- フォルダ内のファイル名の画像番号が9999に達した場合には、カメラが自動的にフォルダを作成し、その新規フォルダ内で再び0001から連番をつけます。
- フォルダ番号が999のときにファイル数が200個またはファイル番号が9999に達した場合には、内蔵メモリ/SDカードの記録容量に余裕があっても、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリ/SDカードを初期化（📖103）してください。

暗いところではースピードライトの使い方

撮影目的や撮影意図に合わせて5 種類のスピードライトモードを選択できます。

モード設定	機 能	使用場面
AUTO 自動発光	被写体が暗い場合にスピードライトが自動的に発光します。	• 一般的なスピードライト撮影をする場合に使用します。
赤目軽減自動発光	スピードライトが発光する前にあらかじめ赤目軽減ランプ（E3200）またはスピードライト（E2200）を小発光させて、人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。	• ポートレート撮影に使用します（撮影の際、被写体の人物にスピードライトが小発光するのをしっかり見てもらうと効果が上がります）。 • シャッターチャンスを優先するような撮影にはおすすめできません。
発光禁止	スピードライトの発光を禁止します。	• 自然光撮影したい場合、またはスピードライトの使用が禁止される場所で撮影するときに設定します。 • 手ブレ警告表示（ ）が表示される場合は手ブレに注意して撮影してください。
強制発光	被写体の明るさに関係なく、必ずスピードライトが発光します。	• 昼間の屋外撮影などで顔に影がかかる場合などに使用します。
スローシンクロ	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。	• 夕景や夜景を背景とした人物撮影などで、遠くの背景も近くの人物もきれいに写したい場合に使用します。 • （手ブレ警告表示）が表示される場合は、手ブレに注意して撮影してください。

1

（オート撮影）モードにセットして、マルチセレクターの▲（ ）を押すと、モードリストが表示されます。

2

▲または▼を押して、セットしたいモードのアイコンを選択します。
を押すとスピードライトモードがセットされ、液晶モニタに選択したモードのアイコンが表示されます（マルチセレクターの を押さないまま**2**秒以上経過した場合は元の設定でメニューを閉じます）。

感度表示について

「撮像感度」とは、カメラが光に対して反応する速度を表したものです。通常、E3200/E2200 の撮像感度はISO50 に相当します。
暗い場所で発光禁止（ⓢ）にセットされているときは、シャッタースピードの低下による手ブレを防ぐためにカメラが自動的に感度を上げることがあります。撮像感度が上がっている状態では、液晶モニタに感度表示（ISO）が表示されます。
ISO が表示されているときに撮影された画像は、標準感度に比べ多少ザラついた画像になります。

暗い場所で撮影するときのご注意

発光禁止（ⓢ）にセットして暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、液晶モニタに手ブレ警告表示（✋）が表示されますので、三脚などでカメラを安定させて撮影してください。このような状況で撮影された画像にはノイズが発生する場合があります。

調光範囲

調光範囲は、広角側で約0.4 ～ 3.4m、望遠側で約0.4 ～ 2.0m（E3200）/広角側で約0.4～3.7m、望遠側で約0.4～2.0m（E2200）です。

近距離撮影時のご注意

40cm よりも近距離側でスピードライトを使用すると、光が充分に行きわたらない（ケラレる）ことがあります。テスト撮影をして、液晶モニタで画像をご確認ください。

スピードライトモードの設定：記憶について

- 📷（オート撮影）モードの場合：スピードライトモードは、電源をOFF にしても設定されていたモードが記憶されます。「設定クリア」（☞105）を行った場合は、AUTOに戻ります。
- スピードライトモードを変更できるシーンモード（☞38～49）の場合：電源をOFF にしたり、「設定クリア」（☞105）を行うと、シーンごとの初期設定に戻ります。

AF補助光について（E3200のみ）

E3200は、AF補助光を搭載しています。被写体が暗い場合にシャッターボタンを半押しするとAF補助光が自動的に照射され、被写体を照らしてオートフォーカスでのピント合わせを可能にします。

- AF補助光が届く範囲
  広角側：約0.4～2.0m、望遠側：約0.4～1.4m
- シーンモード（☞38 ～ 49）では、アシスト（☞39 ～ 43）を使用しない（ポートレート）、（夜景ポートレート）および（パーティ）、（海・雪）、（夕焼け）、（モノクロコピー）、（逆光）、（パノラマアシスト）にセットした場合のみAF補助光が点灯します。

自分も一緒に写すには―セルフタイマーの使い方

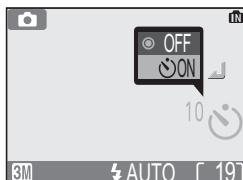
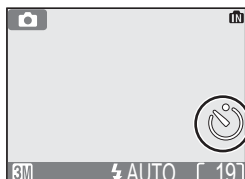
セルフタイマーを使用すると、シャッターボタンを押してから10 秒後に撮影が行われます。撮影者自身が写りたいときや、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防ぎたい時などに便利です。

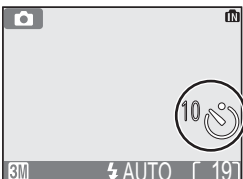
1

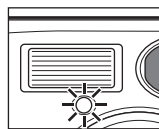
（オート撮影）モードにセットして、マルチセレクターの◀（）を押すと、リストが表示されます

2

▼を押して、**ON** を選択します。

3

を押すとセルフタイマーモードが**ON**にセットされ、アイコンが液晶モニタに表示されます（マルチセレクターのを押さないまま**2** 秒以上経過した場合は元の設定でリストを閉じます）。

4

構図を決め、シャッターボタンを押し込んで、セルフタイマーを作動させます。

- 撮影までの秒数を示すカウントダウン表示が液晶モニタに表示されます。

- シャッターボタンを押すとピントと露出が固定され、カメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。セルフタイマーランプはシャッターがきれる直前に約1 秒間点灯します。

セルフタイマーを停止するには

作動中のセルフタイマーを停止するには、もう一度シャッターボタンを押してください。

セルフタイマー使用時のご注意

- セルフタイマーを使用するときは、三脚などでカメラを安定させてください。
- 選択されているシーンモードによっては、セルフタイマーを ON に設定できない場合があります(38～49)。

手軽に接写するには—マクロモードの使い方

マクロモードをONにすると、最短4cmまで被写体に近づいて近接撮影を行うことができます。

1

（オート撮影）モードにセットして、マルチセレクターの▼（）を押すと、リストが表示されます。

2

▼を押して、**ON** を選択します。

3

を押すとマクロモードが**ON** にセットされ、アイコンが液晶モニタに表示されます（を押さないまま**2** 秒以上経過した場合は、マクロモードが変更されないまま撮影画面に戻ります）。

4

構図を決めます。

- 液晶モニタのマクロアイコン（）が緑色に表示されるワイド側のズーム位置では、レンズ前約4cm までの被写体にピントを合わせることができます。

マクロモードについてのご注意

- マクロモードで近接撮影する場合は、ファインダーで確認した構図と実際に写る範囲の間にズレが生じますので、液晶モニタを見て構図を決めてください。
- マクロモードでは、シャッターボタンの半押しでAF ロックが行われるまで、カメラは常にAFによるピント合わせを繰り返し行います。
- 選択されている撮影モードやシーンモードによっては、マクロモードをON に設定できない場合があります（38～49）。

シーンモードについて

E3200/E2200 では、4種類のアシスト機能付きシーンモードと11種類のシーンモードが用意されています。シーンモードでは、選択された「シーン」に合わせて、カメラが各種設定を最適な状態にセットします。撮影状況や被写体に合ったシーンモードを選択するだけで、シーンに合った撮影が簡単に楽しめます。

アシスト機能付きシーンモード

モードダイヤルで選択します。

アシスト機能付きシーンモード	撮影状況	👁
ポートレート	背景をぼかし、人物を強調させたポートレート写真を撮影したいとき。	40
風景	木々の緑や青空などを強調した風景写真を撮影したいときや、風景をバックにした人物撮影をしたいとき。	41
スポーツ	動きの激しい被写体の一瞬の動きをとらえた躍動感のあるスポーツ写真を撮影したいとき。	42
夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を撮影したいとき。	43

シーンモード

モードダイヤルを SCENE にセットした後、**MENU**ボタンを押します。

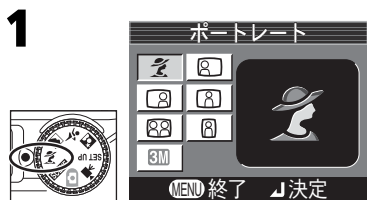
シーンモード	撮影状況	👁
パーティー	パーティー会場などで、キャンドルライトをきれいに写すなど被写体の背景を活かした雰囲気のある撮影をしたいとき。	45
海・雪	晴天の海や湖、砂浜や雪景色を撮影したいとき。	45
夕焼け	美しい赤い夕焼け（朝焼け）を撮影したいとき。	45
トワイライト	夜明け前や日没後のわずかな自然光のなかで、風景を見たままに写したいとき。	46
夜景	きれいな夜景写真を撮影したいとき。	46
クローズアップ	草花や昆虫、小さな被写体などを色鮮やかに撮影したいとき。	46
ミュージアム	スピードライトを発光させたくない場所で撮影したいとき。	47
打ち上げ花火	大きく広がる打ち上げ花火をきれいに撮影したいとき。	47
モノクロコピー	ホワイトボードや印刷物の文字、線画をシャープに複写したいとき。	47
逆光	逆光で人物が影になってしまうときに人物が影にならないように撮影したいとき。	47
パノラマアシスト	複数の画像を組み合わせて1つの画像に合成したいとき。	48

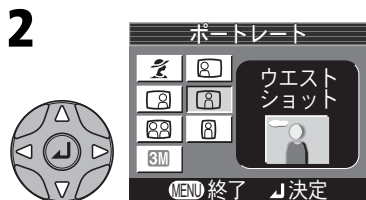
思いどおりの画像にならない場合は

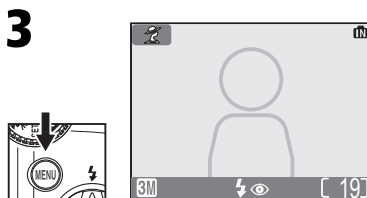
撮影状況によっては、選択したシーンモードでは期待どおりの結果にならない場合があります。このような場合は、（オート撮影）モードで再度撮影することをおすすめします。

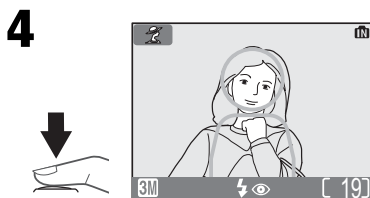
アシスト機能付きシーンモード

モードダイヤルでアシスト機能付きシーンモードを選択します。
アシスト機能を使用すると、液晶モニタに表示されるフレーム位置で、ピントや露出の合った撮影が可能です。アシスト機能を使用する場合は、次の手順で撮影を行ってください。

1

モードダイヤルをアシスト機能付きシーンモードに合わせ、**MENU** ボタンを押すと、アシスト機能の選択画面が表示されます。

2

マルチセレクターの▲、▼、◀または▶を押して、使用するアシスト機能を選択し、㊂を押します。

3

MENU ボタンを押すと、液晶モニタにガイドが表示されます。

4

表示されるガイドと画像の構図を合わせて撮影します。

ガイド使用時のご注意

- 被写体をガイドに正確に合わせる必要はありません。目安としてお使いください。
- 被写体をガイドに合わせるときは、周りの状況や足もとをご確認ください。

画像モードの設定について

アシスト機能付きシーンモードの選択画面で「画像モード」を設定できます（73）。

ポートレートモード

人物撮影に使用します。背景をぼかし、人物を浮き立たせて立体感のある画像に仕上げます。アシスト機能を使用すると、被写体が画面の中心になくても、ピントや露出の合った撮影が可能です。

ポートレートモードでは次のアシスト機能が選択できます。

ポートレート

液晶モニタにガイドは表示されません。画面の中央にある被写体にピントが合います。

- 被写体が画面の中央にない場合は、AF ロック(31) を行ってください。

人物左

人物の顔を画面のやや左寄りにアップで撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示されるガイドと重なる部分にピントと露出を合わせます。

人物右

人物の顔を画面のやや右寄りにアップで撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示されるガイドと重なる部分にピントと露出を合わせます。

ウエストショット

人物を腰から上のアップで撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示されるガイドの顔と重なる部分にピントと露出を合わせます。

ツーショット

2 人並んだ人物を腰から上のアップで撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示される2 つのガイドのうち、重なる部分の近い方にピントと露出を合わせます。

縦位置

人物を縦位置で撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに表示されるガイドの顔と重なる部分にピントと露出を合わせます。

スピードライト	（赤目軽減自動発光）（全モードに変更可能）	セルフタイマー	OFF（ONに変更可能）	マクロモード	OFFに固定

※表中のスピードライトはスピードライト、セルフタイマーはセルフタイマー、マクロモードはマクロモードを示しています。

風景モード

風景写真を撮影したいときに使用します。木々の緑や青空などの輪郭やコントラストを強調して鮮やかな色の画像に仕上げます。アシスト機能を選択すると、風景だけではなく、風景を背景にした人物撮影にも適した撮影が行えます。

風景モードでは次のアシスト機能が選択できます。

風景

液晶モニタにガイドは表示されません。

- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。

山

遠くの山並みを撮影する場合に適しています。

- 液晶モニタに2 本のガイドラインが横方向に表示されます。山の稜線が上側の黄色い波形のガイドに重なるように構図を合わせます。

建物

建物を撮影する場合に適しています。

- 構図を合わせやすいように、格子状のガイドを表示します。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ	
	（発光禁止）に固定		OFF（ONに変更可能）		OFFに固定

左背景

背景を左に、人物を右に配置した構図で撮影する場合に適しています。

- 背景と人物の両方にピントが合います。

右背景

背景を右に、人物を左に配置した構図で撮影する場合に適しています。

- 背景と人物の両方にピントが合います。

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ	
	AUTO（自動発光）（全モードに変更可能）		OFF（ONに変更可能）		OFFに固定

スポーツモード

高速シャッターで一瞬の動きを鮮明に写します。動きの速い被写体の一瞬の動きを捕らえた躍動感のあるスポーツ写真を撮影したいときに使用します。
アシスト機能を選択すると、連続撮影や、シャッターチャンスを優先した撮影が行えます。

スポーツモードでは次のアシスト機能が選択できます。

スポーツ

シャッターボタンを深く押し続けることにより、約1.5 コマ/ 秒で連続撮影できます。

- E3200では、画像モードが3M 標準（2048）の場合、連続で約3 コマ撮影できます。
- E2200では、画像モードが2M 標準（1600）の場合、連続で約6コマ撮影できます。
- ピントと露出は1 コマ目の画像を撮影した条件に固定されます

スポーツ観戦

- シャッターチャンス優先モードです。約3m〜∞の距離でピントが合います。
- シャッターボタンを押し続けることで連写が可能です。連続撮影可能枚数は、「スポーツ」と同じです。

スポーツマルチ連写

シャッターボタンを押し込むと、約2 秒間で16 コマの画像を撮影します。画像は4 × 4 枚に並べられ、1 コマのエコノミー／標準（1600× 1200）画像として記録されます。

- ピントと露出は1 コマ目の画像を撮影した条件に固定されます。

フラッシュ	（発光禁止）に固定	セルフタイマー	OFFに固定	マクロ	OFFに固定

スポーツモードについてのご注意

「スポーツ」、「スポーツマルチ連写」では、シャッターボタンの半押しでAF ロックが行われるまで、カメラは常にAF によるピント合わせを繰り返し行います。

夜景ポートレートモード

夕景や、夜景をバックに人物を撮影したいとき、背景を黒くつぶすことなく、人物も背景も自然に表現できます。アシスト機能を使用すると、被写体が画面の中心になくても、ピントや露出の合った撮影が可能です。

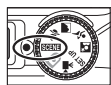
- アシスト機能の内容はポートレートモードの場合と同様です（40）。
- 手ブレしないように三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。
- ノイズが画像に発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われます。この場合、画像の記録時間が通常の2 倍以上かかります（E3200のみ）。

フラッシュ	（赤目軽減強制発光）に固定	セルフタイマー	OFF（ONに変更可能）	マクロ	OFFに固定

SCENE シーンモード

11 種類のシーンモードが選択できます。選択された「シーン」に合わせてカメラが各種設定を最適な状態にセットします。撮影状況や被写体に合ったシーンモードを選択するだけで、複雑な設定をしなくても思いどおりの撮影が簡単に楽しめます。

シーンモードは次のように使用します。

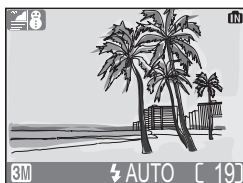
1

モードダイヤルを SCENE に合わせ、**MENU** ボタンを押すと、シーンモードの選択画面が表示されます。

2

マルチセレクターの▲、▼、◀または▶を押して、使用するシーンモードのアイコンを選択します。

3

を押すと、選択したシーンモードがセットされます。

4

MENU ボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。

- 選択したシーンモードのアイコンが液晶モニタの左上に表示されます。

画像モードの設定について

シーンモードの選択画面で「画像モード」を設定できます（73）。

各シーンモードの内容は次のとおりです。

パーティー

パーティー会場などでキャンドルライトをきれいに写すなど、被写体の背景を活かした雰囲気のある画像に仕上げます。

- 手ブレ度合い:★

スピードライト		セルフタイマー		マクロモード	
⚡	⚡👁（赤目軽減自動発光）（全モードに変更可能）	⏲	OFF（ONに変更可能）	🌷	OFFに固定

海・雪

晴天の海や湖、砂浜や雪景色を明るく鮮やかに撮影します。

スピードライト		セルフタイマー		マクロモード	
⚡	AUTO（自動発光）（全モードに変更可能）	⏲	OFF（ONに変更可能）	🌷	OFFに固定

夕焼け

美しい赤い夕焼け（朝焼け）を見た目のままに美しく表現します。

- 手ブレ度合い:★

スピードライト		セルフタイマー		マクロモード	
⚡	ⓧ（発光禁止）（全モードに変更可能）	⏲	OFF（ONに変更可能）	🌷	OFFに固定

※表中の⚡はスピードライト、⏲はセルフタイマー、🌷はマクロモードを示しています。

手ブレ度合い表示について

手ブレ度合い表示のあるシーンモードでは、被写体の明るさによってシャッタースピードが遅くなります。この場合、手ブレ度合いに応じて、次のようにカメラを固定してください。

★　：脇を締めて、カメラを固定するようにしっかりと構えてください。
★★：三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。

トワイライト（夜明け直前、日没直後）

夜明け前や日没後のわずかな自然光のなかで、風景を見たままに写します。

- ノイズが画像に発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われます。この場合、画像の記録時間が通常の2 倍以上かかります。
- 手ブレ度合い:★

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ	
	（発光禁止）に固定		OFF（ONに変更可能）		OFFに固定

夜景

夜景を撮影する際、スローシャッターで夜景の雰囲気を表現した写真を撮影できます。

- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。
- ノイズが画像に発生するような遅いシャッタースピードでは、自動的にノイズ除去が行われます。この場合、画像の記録時間が通常の2 倍以上かかります。
- 手ブレ度合い:★★

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ	
	（発光禁止）に固定		OFF（ONに変更可能）		OFFに固定

クローズアップ（接写）

クローズアップ写真を撮影したいときに使用します。草花や昆虫、小さな被写体などを色鮮やかに撮影することができます。

- 液晶モニタのマクロアイコン（）が緑色に表示されるワイド側のズーム位置では、レンズ前約4cm までの被写体にピントを合わせることができます。
- ズーム位置により最短撮影距離は変化します。
- シャッターボタンの半押しで、AF ロックが行われるまで常にピント合わせを行います
- 手ブレ度合い:★

フラッシュ		セルフタイマー		マクロ	
	AUTO（自動発光）（全モードに変更可能）		OFF（ONに変更可能）		ONに固定

ミュージアム（美術館や博物館）

スピードライトの発光が禁止されている博物館や美術館など、スピードライトを発光させたくない場所で撮影するときに使用します。

- BSS 機能（79）が自動的にオンになります。最大10 コマの連続撮影をカメラが自動的に行い、カメラが自動的により鮮明な画像を1 コマ選択します。
- 博物館、美術館等によっては撮影が禁止されている場合があります。あらかじめご確認ください。
- 手ブレ度合い:★

	（発光禁止）に固定		OFF（ONに変更可能）		OFF（ONに変更可能）

打ち上げ花火

スローシャッターで、大きく広がる打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。
- 手ブレ度合い:★★

	（発光禁止）に固定		OFFに固定		OFFに固定

モノクロコピー（白黒写真、本の複写など）

ホワイトボードや名刺、印刷物の文字などを、シャープに複写することができます。

- 複写するものが赤色、青色などの場合、文字などが薄くなることがあります。

	（発光禁止）（全モードに変更可能）		OFF（ONに変更可能）		OFF（ONに変更可能）

逆光

逆光状態のときに、人物が影にならず美しく撮影することができます。

	（強制発光）に固定		OFF（ONに変更可能）		OFFに固定

パノラマアシスト

複数の画像を最初に撮影した画像と同じホワイトバランスと露出で撮影します。

フラッシュ	セルフタイマー	マクロ
⊕（1コマ目で全モードに変更可能。）	OFF（ONに変更可能）	OFF（1コマ目でONに変更可能。）

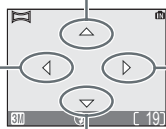
パノラマアシストを選択して撮影する

1

シーンモードの選択画面でマルチセレクターの▲、▼、◀または▶を押してパノラマアシストを選択し、⊛を押します。

2

MENU ボタンを押すと、パノラマ方向表示（▷）が黄緑色で表示されます。

3

画像をつなげる方向をマルチセレクターの▲、▼、◀、▶で選択します。

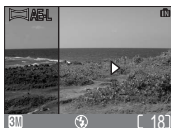
パノラマアシスト画像の合成について

パノラマアシストで撮影した画像は、パソコンに転送後（56）、PictureProject付属のパノラマメーカーを使って合成できます。詳しくはPictureProject付属のPictureProjectリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

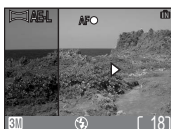
4

⏎を押します。選択したパノラマ方向表示が白色で表示されます。

- パノラマ方向表示を変更する場合は、もう一度⏎を押し、手順3と4を行います。

5

シャッターボタンを押して最初の画像を撮影します。

- AE-Lアイコンが表示され、撮影した画像の約1/3が、選択した方向の反対側の撮影画面上に半透明に表示されます。

6

先に撮影した画像の絵柄と撮影画面の絵柄がつながるようにカメラの構図を合わせます。

7

シャッターボタンを押して次の画像を撮影します。

- 手順6、7を繰り返して、パノラマ画像を構成するすべての画像を撮影します。

8

⏎を押すと、パノラマアシスト撮影が終了します。

- モードダイヤルの切り換え、またオートパワーオフの作動でも、パノラマアシスト撮影は終了します。

パノラマアシストモード撮影のご注意

- スピードライトモード、セルフタイマー、マクロモードは、パノラマ方向表示を設定した後にセットできます。
- 1コマ目を撮影した後は、パノラマ方向表示は変更できません。
- 1コマ目を撮影すると、2コマ目以降は1コマ目と同一条件で撮影されます。

三脚の使用

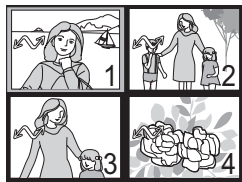
パノラマアシストモードで撮影する場合は三脚を使用すると、組み合わせる画像の構図を合わせやすくなります。

パノラマアシストモードで撮影された画像の保存

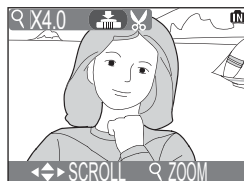
パノラマアシストモードで撮影を行うたびに、「P_XXXフォルダ」（例：P_001）が新しく作成され、一連の画像が保存されます。

カメラで再生する

サムネイル再生モード

▶ボタンで1 コマ再生モード（32）に入り、⊞（**W**）ボタンを押すと、液晶モニタに4 コマの縮小した画像（サムネイル画像）が表示される「サムネイル再生モード」になります。「サムネイル再生モード」で可能な操作は次のとおりです。

機 能	ボタン	内 容
画像を選択する	（マルチセレクター）	マルチセレクターの▲、▼、◀または▶を押して画像を選択し、↵を押して1 コマ再生モードになります。
表示コマ数を変更する	⊞(**W**)/🔍(**T**)	サムネイル画像の4 コマ表示時に⊞(**W**)ボタンを押すと、サムネイル画像の9 コマ表示になります。9 コマ表示時に🔍(**T**)ボタンを押すと4 コマ表示に、4 コマ表示時に🔍(**T**)ボタンを押すと1 コマ再生モードになります。
1 コマ再生モードに戻る	（マルチセレクター）	サムネイル再生モード中に↵を押すと、サムネイル再生をキャンセルして1 コマ再生モードに戻ります。
画像を削除する	🗑	🗑 1 枚削除します よろしいですか？ いいえ はい 🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」いずれかを選択します。↵を押すと選択が実行されます。

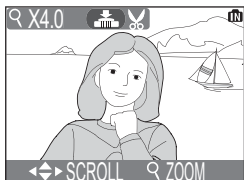
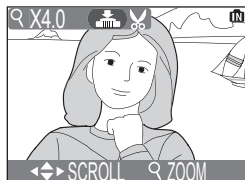
拡大表示モード

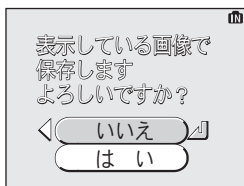
▶ボタンで1 コマ再生モードに入り、Q(**T**)ボタンを押すと、表示された画像を拡大表示できます（拡大表示は動画およびスモールピクチャーの画像では使用できません)。「拡大表示」で可能な操作は次のとおりです。

機能	ボタン	内容
画像を拡大表示する	Q(**T**)	押すごとに画像を拡大表示します。最大約10 倍まで拡大されます。拡大表示中はQアイコンと拡大倍率が液晶モニタの左上に表示されます。
画像の他の部分を表示する		マルチセレクターの▲、▼、◀または▶を押すと、画像をスクロールさせて、見たい部分に移動することができます。
拡大倍率を下げる	(**W**)	拡大表示中に(**W**)ボタンを押すと、拡大倍率が下がります。もとの1 コマ再生モードと同じ拡大倍率まで下がると、拡大表示はキャンセルされます。前後の画像を見るときは、拡大表示をキャンセルしてからマルチセレクターを操作してしてください。
1 コマ再生モードに戻る		拡大表示中に を押すと、拡大表示をキャンセルして1コマ再生モードに戻ります。
トリミング画像を作成する		画像を表示部分のみにトリミングできます。（52）
画像を削除する		1 枚削除します よろしいですか？ いいえ はい ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択します。 を押すと、選択が実行されます。

いろいろな再生

画像をトリミングする

元画像を必要な部分のみにトリミングして別画像として保存します。

1

1コマ再生モードで画像を表示させ、Q（**T**）または▦（**W**）ボタンで好みの大きさにします。

マルチセレクターの▲、▼、◀または▶を使用してトリミングしたい部分を表示します。

3

シャッターボタンを押します。

- 確認画面が表示されます。「はい」を選択して㊉を押します。
- キャンセルする場合は、「いいえ」を選択して㊉を押します。

- トリミングで作成された画像は、JPEG 形式で約1/8 に圧縮して保存されます。
- トリミングで作成された画像の画像サイズは、拡大倍率により異なります。次のうちから最適なものをカメラが自動的に選択します（単位：ピクセル）。
  - ・2048 × 1536（E3200のみ）　・1600 × 1200　・1280 × 960　・1024 × 768
  - ・640 × 480　・320 × 240　・160 × 120
- ファイル名は、先頭文字「RSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に1 を加えた番号）を付けた名前（拡張子は.JPG）となります。
  例：RSCN0015.JPG

トリミングする場合のご注意

- トリミング画像の撮影日時は、元画像と同じです。
- スモールピクチャー（☞88）、トリミングで作成された画像をトリミングすることはできません。
- E3200/E2200 でトリミングした画像を、E3200/E2200 以外のデジタルカメラで再生すると、正常に表示できない場合やパソコンに転送できない場合があります。

音声メモを録音/再生する（E3200のみ）

1コマ再生（32）時に アイコンが表示される画像でシャッターボタンを押すと、カメラのマイクを使用して音声メモを録音することができます。音声メモの録音中はマイクに触れないようにご注意ください。動画（66）、サムネイル再生モード（50）、拡大表示モード（51）時は、音声メモの録音/再生はできません。

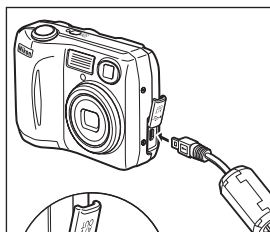
すでに音声メモが録音されている画像には［♪］（音声メモ表示）と ［♪］（音声メモ再生ガイド）が表示され、音声メモを録音できません。

機 能	ボタン	内 容
録音する		シャッターボタンを押している間、最長約20秒の音声メモを録音できます。シャッターボタンから指をはなすか、約20秒経過すると、録音が終了します。 • 音声メモを録音できる画像には、（音声メモ録音ガイド）が表示されます。 • 録音中は●**REC**が点滅します。
再生する		［♪］アイコンが表示された画像を再生中にシャッターボタンを押すと、音声メモが再生されます。 音声メモの再生中にシャッターボタンを押すと、音声の再生を停止できます。
音量を変更する	(**W**)/ (**T**)	音声メモの再生中に(**W**)ボタンを押すと音量は小さくなり、(**T**)ボタンを押すと音量は大きくなります。音量を変更すると、セットアップメニューの「操作音：音量」（100）も変更されます。
音声メモを削除する		ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して、「いいえ」、「♪」、「はい」のいずれかを選択し、を押すと選択した項目が実行されます。 • いいえ：画像と音声メモは削除されません。 • [♪]：音声メモのみが削除されます。 • はい：画像と音声メモが削除されます。 （画面表示：1枚削除します よろしいですか？ いいえ ［♪］ は い）

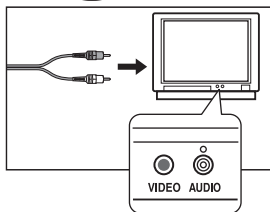
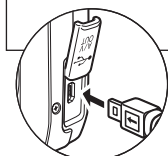
録音された音声メモの保存

音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じファイル番号に拡張子「.WAV」がつきます（例：DSCN0015.WAV)。

テレビで再生する

付属のオーディオビデオケーブルEG-CP12（以下AVケーブル）（E3200）/ビデオケーブルEG-CP11（E2200）を使用して、撮影された画像をテレビやビデオデッキで再生することができます。

1 カメラの電源を**OFF**にします。

2 **AV**/ビデオケーブルをカメラに接続します。

- 端子カバーを開け、ケーブルの黒いプラグをカメラのビデオ出力端子に接続します。

3 **AV**/ビデオケーブルを映像機器に接続します。

- E3200の場合には、AVケーブルの黄色のプラグをテレビやビデオデッキなどの映像機器の映像入力端子に、白色のプラグを映像機器の音声入力端子にそれぞれ接続します。
- E2200の場合には、ビデオケーブルの黄色のプラグをテレビやビデオデッキなどの映像機器の映像入力端子に接続します。

4 映像機器の入力をビデオ入力または外部入力に切り換えます。

- 詳しくは映像機器の使用説明書をご覧ください。

5 ▶ ボタンを**1**秒以上押し、再生モードでカメラの電源を**ON**にします。

- テレビに撮影された画像が表示され、カメラの液晶モニタは消灯します。

ビデオモード

E3200/E2200と映像機器を接続する前に、セットアップメニューの「ビデオ出力」（☞104）で、ビデオ出力形式を確認してください。

パソコンで再生する

付属のUSB ケーブルUC-E6 とPictureProject ソフトウェアを使用して、撮影した画像をパソコンで再生することができます。画像を転送する前に、PictureProjectをパソコンにインストールする必要があります。インストール方法、転送方法については、クイックスタートガイド、およびPictureProjectリファレンスマニュアルをご覧ください。

カメラとパソコンを接続する前に

カメラからパソコンへ画像を転送するには2つの方法があります。

- カメラの◎（転送）ボタンを使用する方法（86）
- PictureProjectの[ボタン]ボタンを使用する方法

どちらの方法を使用するかは、ご使用のパソコンのOS(オペレーティングシステム)およびカメラとパソコンの通信方式の組み合わせで決まります。通信方式は以下の表を参考にして、セットアップメニューの「USB」で設定してください。初期設定は「Mass Storage」に設定されています。

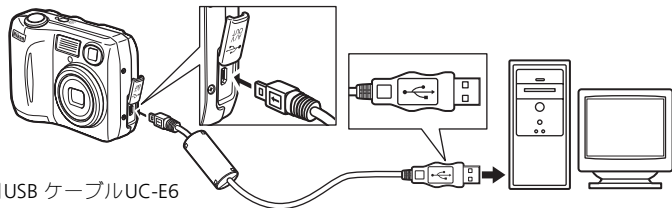
OS	カメラの◎（転送）ボタン*	PictureProjectの[ボタン]ボタン
	USB通信方式	
Windows XP Home Edition Windows XP Professional	**Mass Storage** または**PTP**	**Mass Storage** または**PTP**
Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition (Me) Windows 98 Second Edition (SE)	**Mass Storage**	**Mass Storage**
Mac OS X 10.1.5 ～	**PTP**	**Mass Storage** または**PTP**

* 以下の場合、カメラの ◎（転送 ）ボタンは使用できません。PictureProject の [ボタン]ボタンで転送してください。
  - 内蔵メモリを使用し、「USB」の設定を「Mass Storage」にしている場合
  - SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」の位置になっている場合（「Lock」を解除するとカメラの◎（転送）ボタンを使用できます。）

いろいろな再生

専用 USB ケーブルでパソコンに接続する

カメラの電源がOFF になっていることを確認して、カメラと起動したパソコンを専用USB ケーブルUC-E6 で下図のように接続します。接続が完了したらカメラの電源をON にします。

専用USB ケーブルUC-E6

Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE をご使用の場合のご注意

ご使用のOS がWindows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE の場合には、セットアップメニューの「USB」を「PTP」に設定しないでください。
「USB」を「PTP」に設定して、上記OS のパソコンと接続した場合には、下記の要領でパソコンとの接続を外してください。
再度パソコンと接続する場合は、必ず「USB」を「Mass Storage」に変更した後、パソコンと接続してください。

Windows 2000 Professional の場合：
「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されますので、「キャンセル (中止)」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows Me の場合：
「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows 98SEの場合：
「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

USBハブについて

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

カメラとパソコンの接続を外す

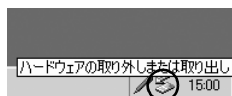
USB 通信方式が「PTP」（55）の場合：

カメラの電源をOFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

USB 通信方式が「Mass Storage」の場合：

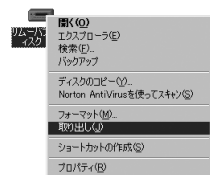
転送が完了したら、必ず次の操作をしてからカメラの電源をOFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

Windows XP Home Edition/Professional の場合

パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして「USB 大容量記憶装置デバイスードライブ（E:）を安全に取り外します」を選択してください。

Windows 2000 Professional の場合

パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして「USB大容量記憶装置デバイスードライブ(E:)を停止します」を選択してください。

Windows Millennium Edition の場合

パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして「USBディスクードライブ(E:)の停止」を選択してください。

Windows 98SE の場合

マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。

※「ドライブ（E:）」のEは、ご使用のパソコンによって異なります。

Mac OSX

Mac OS X の場合

デスクトップ上の「NO_NAME」アイコンをゴミ箱に捨ててください。

いろいろな再生

画像をプリントする(プリント指定)

内蔵メモリ/SDカードに記録した画像は、従来の写真のようにプリントすることができます。また、再生メニューの「プリント指定」を使うと、プリント枚数や日付の写し込みなどのDPOF設定ができます。

プリントするには

画像をプリントするには、次の方法があります。

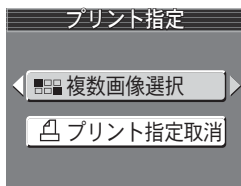
- プリンタ/デジタルプリントサービス取扱店でプリントする
  画像を記録したSDカードをカードスロット付きプリンタにセットしてプリントするか、デジタルプリントサービス取扱店に依頼します。再生メニューの「プリント指定」を使う場合は、プリンタ/デジタルプリントサービス取扱店がDPOFに対応している必要があります。なお、内蔵メモリに記録した画像は、デジタルプリントサービス取扱店によってはカメラを持参してプリントを依頼できる場合があります。
  内蔵メモリの画像をSDカードにコピー（89）してプリントを依頼する場合は、SDカードに画像をコピーしてから「プリント指定」を行ってください。
- **PictBridge**（ピクトブリッジ）対応プリンタでプリントする（62）
  カメラとPictBridge対応プリンタを接続してプリントすることができます。「プリント指定」の設定を使用することができます。
- パソコンに画像を転送してプリントする
  詳しくは、PictureProjectリファレンスマニュアルをご覧ください。

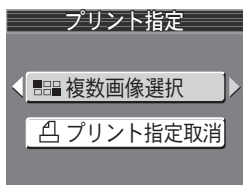
DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）

DPOFはデジタルカメラで撮影した画像の中からプリントする画像や枚数、画像情報、日付の情報をSDカードなどのメモリに記録するためのフォーマットです。プリント時には、デジタルプリントサービス取扱店またはご使用のプリンタがDPOFに対応しているか、あらかじめご確認ください。

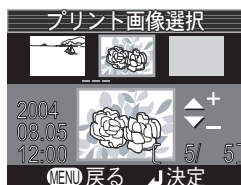
1

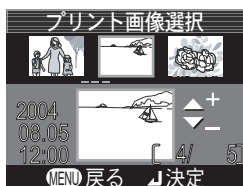
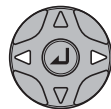
画像を再生しているときに**MENU**ボタンを押すと再生メニューが表示されます。

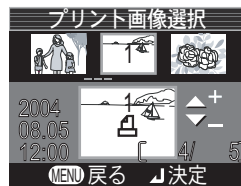
2

▶を押してプリント指定画面を表示します。

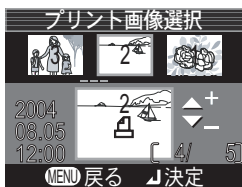
3

▲または▼を押して、「複数画像選択」を選択します。

- 「プリント指定取消」を選択すると、すべてのプリント指定を取り消します。

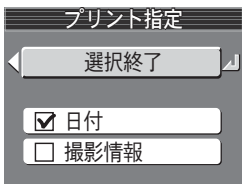
4

▶を押すと、プリント画像選択画面が表示されます。

5

◀または▶を押して、画像を選択します。

6

▲（+）を押して、プリント指定を設定します。設定された画像には**1**（枚数）と凸マークが表示されます。

7

必要に応じて、プリントする枚数を変更します。

- ▲（+）を押すとプリント枚数は増加し（最高9 枚）、▼（–）を押すと減少します。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数が1 のときに▼（–）を押してください。
- 5 ～ 7 の手順を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。
- プリント指定を変更せずに終了するときは、**MENU**ボタンを押してください。

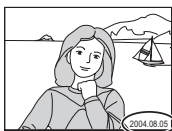
8

⏎を押すと画像の選択が完了し､｢プリント指定｣のメニューが表示されます。⏎を押して設定を終了する前に、必要に応じて▲または▼を押してプリント上に印字する情報を選択します。

- 選択したすべての画像の撮影日をプリントするときは､「日付」を選択して⏎を押します。「日付」の前の☐に✓が入ります。
- 選択したすべての画像のシャッタースピードと絞り値をプリントするときは､「撮影情報」を選択して⏎を押します。「撮影情報」の前の☐に✓が入ります。
- 選択した項目のチェックを外すときは、その項目を選んで⏎を押します。
- 印字情報を設定したら、「選択終了」を選んで⏎を押します。
- プリント設定終了画面が表示された後、再生メニューに戻ります。**MENU**ボタンを押すと､1コマ再生モードに戻ります。
- プリント指定を変更せずに終了するときは、**MENU**ボタンを押してください。

プリント指定のリセット

プリント指定をセットした後プリントするまでは、「プリント指定」メニューを再表示しないでください。「プリント指定」メニューを再表示した場合、「日付」と「撮影情報」の設定はリセットされますので、再度設定を行ってください。

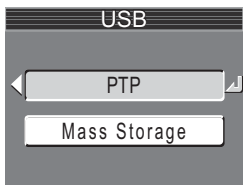
日付のプリントについて

プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの「日時設定」を変更してもプリントされる日付には反映されません。

「デート写し込み」との違いについて

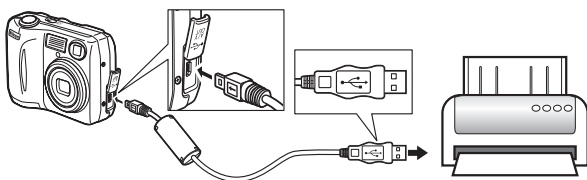
ここで設定した日付はDPOF 対応（58）プリンタでのみプリント可能です（プリント位置はプリンタに依存します）。DPOF に対応していないプリンタで日付をプリントする場合は、セットアップメニューの「デート写し込み」（97）をご使用ください（プリント位置は固定です）。両方を同時に設定した場合は、DPOF 対応プリンタを使用しても「デート写し込みモード」による日付のみプリントされます。

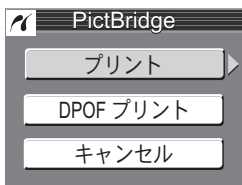
画像をプリントする(ダイレクトプリント)

このカメラは、ダイレクトプリント機能(PictBridgeーピクトブリッジー規格 65)を搭載しています。カメラとPictBridge対応プリンタを付属のUSB ケーブルUC-E6 で接続することで、内蔵メモリ/SDカードに記録した画像を、パソコンを介さずにカメラからの操作で直接プリントできます。

1

カメラの**USB**設定を**PTP**に設定します。

- 設定方法については、「パソコンで再生する」(55)をご覧ください。

2

カメラの電源が**OFF** になっていることを確認して、カメラとプリンタを専用**USB** ケーブル**UC-E6** で図のように接続します。
接続が完了したら、カメラとプリンタの電源を**ON** にします。

3

液晶モニタに**PictBridge**画面が表示されます。

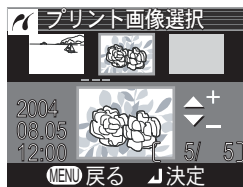
4

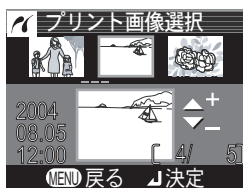
▶を押すと、プリント画面が表示されます。

機能	内容
プリント選択	プリントしたい画像を選択してプリントします。枚数を指定することができます。
全画像プリント	内蔵メモリ/SDカード内の画像をすべて1枚ずつプリントします。
DPOFプリント	DPOF設定されている画像をDPOF設定に従ってプリントします。

5

▲または▼を押して、「プリント選択」を選択します。

6

▶を押すとプリント画像選択画面が表示されます。

7

◀または▶を押して、画像を選択します。

8

▲（+）を押して、プリント指定を設定します。設定された画像には**1**（枚数）と🖶マークが表示されます。

9

必要に応じて、▲（+）または▼（−）を押して、プリント枚数を変更します（最高**9**枚）。

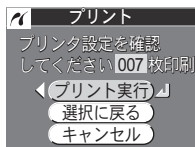
- 7〜9の手順を繰り返し、プリントする画像と枚数を設定します。

10

Ⓞを押すと、選択した画像が縮小表示されます。

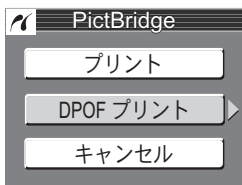
- ▲、▼、◀または▶を押して画像を確認します。
- 画像の確認終了後、Ⓞを押すとプリントの実行画面が表示されます。

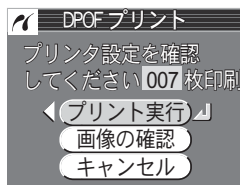
いろいろな再生

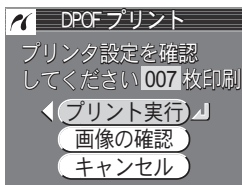
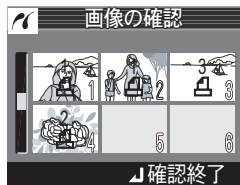
11

Ⓔを押すと、カメラから画像がプリンタへ送られ、プリントが開始します。
- 「選択に戻る」を選択すると、プリント枚数の指定をやり直すことができます。
- プリント中にⒺを押すと、プリントを中止できます。
- プリンタエラーが表示された場合には、プリンタの状態を確認して対処すると、プリントを再開できます。

プリントが終了すると、「印刷終了」画面が表示されます。カメラの電源を**OFF**にして、カメラとプリンタの接続を外してください。Ⓔを押すと**PictBridge**画面に戻ります。

DPOF設定に従ってプリントしたい場合には

1

PictBridge画面でマルチセレクターの▼を押して「**DPOF**プリント」を選択します。

2

▶を押すと、**DPOF**プリント画面が表示されます。

3

▼を押して「画像の確認」を選択します。

4

Ⓔを押すと、選択した画像が縮小表示されます。
- ▲、▼、◀または▶を押して画像を確認します。
- 画像の確認終了後、Ⓔを押すとプリントの実行画面が表示されます。

5

▲または▼を押して「プリント実行」を選択し、㋹を押すと、カメラから画像がプリンタへ送られ、プリントが開始します。

- プリント中に㋹を押すと、プリントを中止できます。
- プリンタエラーが表示された場合には、プリンタの状態を確認して対処すると、プリントを再開できます。

プリントが終了すると、「印刷終了」画面が表示されます。カメラの電源を**OFF**にして、カメラとプリンタの接続を外してください。㋹を押すと**PictBridge**画面に戻ります。

ダイレクトプリントを開始する前に

- ご使用のプリンタが「PictBridge」に対応しているか、あらかじめご確認ください。
- ダイレクトプリントを開始する前に、プリンタの設定を確認してください。プリンタの設定方法については、プリンタの使用説明書をご覧ください。

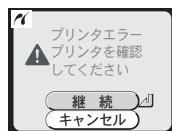
使用する電源について

カメラとプリンタを接続してダイレクトプリントする場合は、確実に電源を供給できるAC アダプタEH-62B（別売）のご使用をおすすめします。バッテリーを使用する場合は、残量が充分なものをご使用ください。

「プリント指定」を設定していない場合

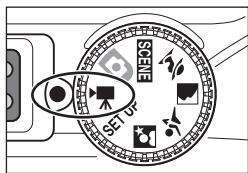
内蔵メモリ/SDカードに記録した画像に「プリント指定」を設定していない場合は、「DPOFプリント」を選択できません。

エラーメッセージが表示された場合

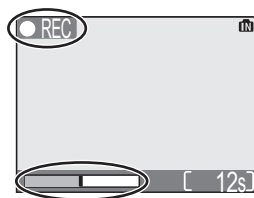
プリント中にエラーメッセージが表示された場合は、プリンタを確認してください。エラーの原因を取り除いた後、マルチセレクターの▲または▼を押して「継続」を選択し、㋹を押すとプリントを再開します。「キャンセル」を選択すると、その時点でプリントを中止します。

PictBridgeについて

PictBridge とは、デジタルカメラとプリンタメーカーの各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずにプリンタで直接印刷するための標準規格です。

動画の撮影

E3200では音声付きの動画、E2200では音声なしの動画を撮影できます。動画の撮影方法は次のとおりです。

1 カメラのモードダイヤルを に合わせます。

2 カメラの電源を**ON** にします。

液晶モニタには記録可能な時間（秒）が表示されます。

3 シャッターボタンを押して、撮影を開始します。

- 撮影中は液晶モニタに● REC が点滅し、進行状況を示すバーが表示されます。
- もう一度シャッターボタンを押すと、撮影を終了します。
- 記録容量がなくなった場合も自動的に終了します。

動画撮影についてのご注意

- SD カードの種類によっては、表示された記録時間いっぱいまで撮影できず、「動画記録できません」と表示され撮影を終了する場合があります（112）。
- E3200の場合には、動画の撮影中はカメラのマイクに触れないようにご注意ください。また、撮影中は動作音が録音される場合があります。動作音が気になる場合は、「AF-MODE」（69）を「シングルAF」に設定して撮影することをおすすめします。
- 撮影総記録時間の表示は最大999までです。999秒以上撮影できる場合でも999と表示されます。

動画の撮影と再生

動画の種類を選択する

動画モードでは、動画の種類を選択できます。

種類	内容	撮影総記録時間*1		
		内蔵メモリ	SDカード	
		約14.5MB	128MB	256MB
TV **TV再生　640**	カラーの動画を画像サイズ640×480ピクセル、15フレーム/秒で撮影します（垂直補間方式）。テレビでの表示に適した画像サイズです。	約26秒	約223秒	*2 約448秒
カメラ再生　**320**（初期設定）	カラーの動画を画像サイズ320×240ピクセル、15フレーム/秒で撮影します（初期設定）。	約52秒	約438秒	*2 約881秒
LP 長時間再生　**160**	カラーの動画を画像サイズ160×120ピクセル、15フレーム/秒で撮影します。画像サイズが小さいため、他の動画と比べて、より長時間の撮影が可能となります。	約211秒	約1754秒	*2 約3525秒

*1 記載されている撮影総記録時間はおおよその目安です。SDカードをご使用の場合、同じ容量でもSDカードの種類によって撮影総記録時間は異なります。

*2 E2200では256MB以上のSDカードをご使用の場合でも、128MBのSDカードご使用の場合と同じ撮影総記録時間になります。

動画モード時のスピードライトについて

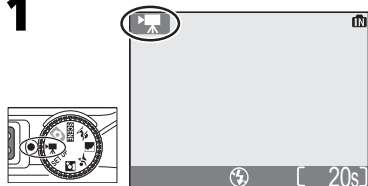
動画モード時は、スピードライトモードが⊛（発光禁止）固定に設定されます。

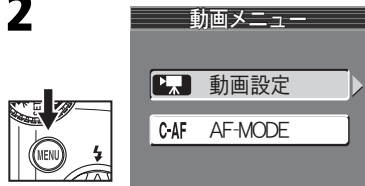
動画モード時のズームについて

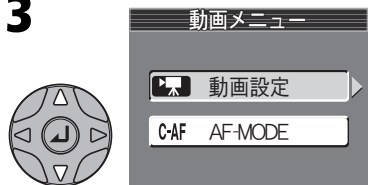
動画モード時は、撮影前は光学ズームのみ、撮影中は電子ズーム2倍まで使用できます。

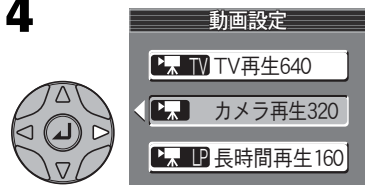
動画について

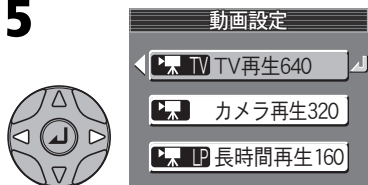
動画は拡張子が「.MOV」の「Quick Time ムービーファイル」として記録されますので、パソコンに転送して再生することもできます。

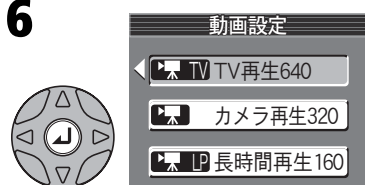
1

カメラのモードダイヤルを動画モードに合わせます。

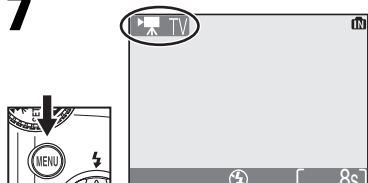
2

MENU ボタンを押すと、動画メニューが表示されます。
E2200の場合には、手順**4**へ進みます。

3

マルチセレクターの▲または▼を押して、「動画設定」を選択します。

4

▶を押すと、メニューが切り換わります。

5

▲または▼を押して、動画の種類を選択します。

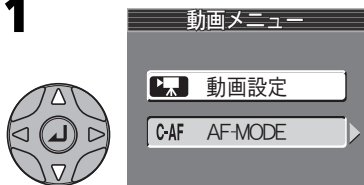
6

決定ボタンを押すと、選択した動画が設定されます。

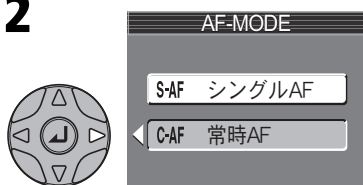
7

MENU ボタンを押すと動画撮影画面が表示されます。

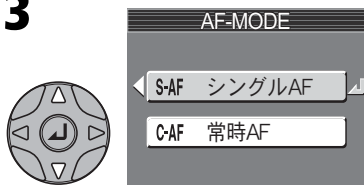
オートフォーカスの方式を設定する（E3200のみ）

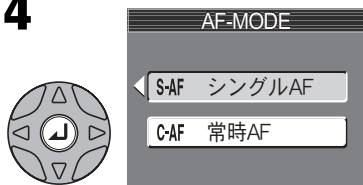
E3200では、オートフォーカスの方式（AF-MODE）を設定することができます。

AFモード	内容
S-AF シングルAF	シャッターボタンを半押ししている間のみピント合わせを行い、ピントが合うとAFロックを行います。撮影を開始すると、シャッターボタンを押し込んだときのピントに固定され、撮影中はピント合わせを行いません。
C-AF 常時AF	撮影中、常にピント合わせを繰り返します。初期設定は「常時 AF」に設定されています。

1

マルチセレクターの▲または▼を押して、「**AF-MODE**」を選択します。

2

▶を押すと、メニューが切り換わります。

3

▲または▼を押して、オートフォーカスの方式を選択します。

4

Ⓞを押すと、選択したオートフォーカスの方式が設定されます。

5

MENU ボタンを押すと動画撮影画面が表示されます。

動画の再生

1コマ再生モード（32）時に、動画を（E3200の場合は音声と同時に）再生することができます。🎥アイコンがついている画像を表示し、マルチセレクターの⊕を押すと動画を再生できます。動画再生画面では画面上部に操作アイコンが表示されます。マルチセレクターの◀または▶を押して選択し、⊕を押すと選択した操作を実行します。

機能	アイコン	内容
巻き戻す	◀◀	動画の再生中に、マルチセレクターで◀◀アイコンを選択し、⊕を長く押し続けると、動画を巻き戻しながら再生します。
早送りする	▶▶	動画の再生中に、マルチセレクターで▶▶アイコンを選択し、⊕を長く押し続けると、動画を早送りしながら再生します。最後のフレームが表示されている場合は再生が終了し、最初のフレームに戻ります。
再生中に一時停止する	❚❚	動画の再生中に、マルチセレクターで❚❚アイコンを選択し、⊕を押すと、動画は一時停止します。
一時停止中に1フレーム戻る	◀❚❚	動画を一時停止している間に、マルチセレクターで◀❚❚アイコンを選択し、⊕を押すと、動画中の1フレーム前の画像をコマ送りで戻します。
一時停止中に1フレーム送る	❚❚▶	動画を一時停止している間に、マルチセレクターで❚❚▶アイコンを選択し、⊕を押すと、動画中の1フレーム後の画像をコマ送りで再生します。
再開する	▶	一時停止中に、マルチセレクターで▶アイコンを選択し、⊕を押すと、一時停止がキャンセルされて再開します。
再生を終了する	■	動画の再生中に、マルチセレクターで■アイコンを選択し、⊕を押すと、1コマ再生モードに戻ります。

音量を変更するには（**E3200のみ**）

動画の再生中に(**W**)ボタンを押すと音量は小さくなり、(**T**)ボタンを押すと音量は大きくなります。音量を変更すると、セットアップメニューの「操作音：音量」（100）も変更されます。

動画ファイルの削除

🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターの▲または▼を押して「はい」を選択し、⊕を押すと動画ファイルが削除されます。
「いいえ」を選択して⊕を押すと、動画ファイルを削除せずに再生画面に戻ります。

撮影メニューについて

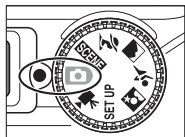
撮影メニュー一覧

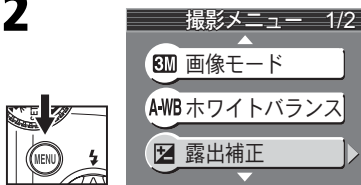
撮影メニューでは以下の項目が設定できます。

メニュー項目	内 容	参照
画像モード	画像サイズ、画質を選択します。	73
ホワイトバランス	照明に合わせて、ホワイトバランスを選択します。	75
露出補正	明るい被写体、暗い被写体、コントラストの強い被写体などに対して露出を補正します。	77
連写	撮影方法を単写（1 コマ撮影）、連写、マルチ連写の中から選択します。	78
BSS	BSS（ベストショットセレクタ：手ブレの影響がもっとも少ない画像を選択して記録する機能）を設定します。	79
ピクチャーカラー	画像の効果を、標準カラー、ビビッドカラー、白黒、セピア、クールの中から選択します。	80

撮影メニューの表示方法

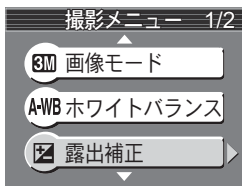
モードダイヤルを［オート撮影］（オート撮影）モードに合わせているときに **MENU** ボタンを押すと、液晶モニタに撮影メニューが表示されます。

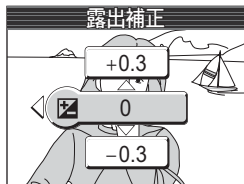
1

モードダイヤルを［オート撮影］に合わせます。

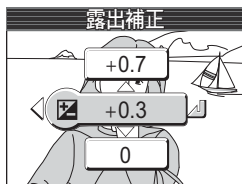
2

MENU ボタンを押します。

• 撮影メニューが表示されます。

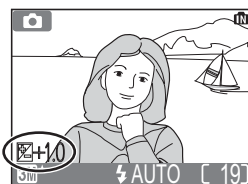
撮影メニューの操作方法

1

マルチセレクターの▲または▼で、セットしたいメニュー項目を選択します。

2

▶を押すと、選択したメニュー項目の詳細設定の画面に切り換わります。

3

▲または▼でセットしたい項目を選択します。㉑を押すと、選択した項目が設定されます。

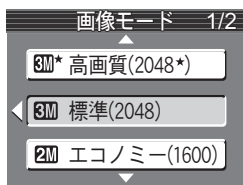
- 1 つ前の画面に戻るには、◀ を押します。

4

撮影メニューを終了して、撮影画面に戻るには、**MENU** ボタンを押します。

画像モード

撮影モード ▶ MENU ▶ 3M 画像モード

デジタルカメラで撮影される画像は画像ファイルとして記録されます。画像ファイルの大きさは撮影時のサイズと画質によって決定されます。このカメラではサイズと画質をあらかじめ組み合わせ、画像モードとして次の中から選択できます。目的にあった画像モードを選択すると内蔵メモリ/SDカードを有効に利用できます。

画像モード 1/2
3M★ 高画質(2048★)
3M 標準(2048)
2M エコノミー(1600)

画像モードの種類

画像モード	サイズ（ピクセル）	内容	プリント時のサイズ※
	圧縮率		
3M★ 高画質（2048★）（E3200のみ）	2048 × 1536	画像を拡大する場合や、細かい模様をプリンタで表現したい場合に適しています。	約17 × 13 cm
	約1/4		
2M★ 高画質（1600★）（E2200のみ）	1600 × 1200		約13 × 10 cm
	約1/4		
3M 標準（2048）（E3200のみ）	2048 × 1536	通常の画質で、一般的にはこの画質モードを使用します。	約17 × 13 cm
	約1/8		
2M エコノミー／標準（1600）	1600 × 1200	標準よりも画像サイズが小さいため、より多くの撮影が行えます。	約13 × 10 cm
	約1/8		
PC パソコン（1024）	1024 × 768	パソコンのモニタに表示する場合に適しています。	約9 × 7 cm
	約1/8		
TV TV（640）	640 × 480	電子メールやホームページに利用する場合や、テレビ画面に表示する場合に適しています。	約5 × 4 cm
	約1/8		

※ 画像解像度を300dpi に設定した場合のサイズです。ピクセル数÷プリンタ解像度（dpi）× 2.54cm で計算しています。

画像モードと撮影可能コマ数について

内蔵メモリ/SDカードに記録できるコマ数は画像モードによって異なります。内蔵メモリに記録できる画像のコマ数の目安はつぎのとおりです。

画像モード	内蔵メモリ	SDカード	
	約14.5MB	128MB	256MB
高画質（2048★）（E3200のみ）	約9コマ	約78コマ	約157コマ
高画質（1600★）（E2200のみ）	約15コマ	約125コマ	約252コマ
標準（2048）（E3200のみ）	約18コマ	約153コマ	約308コマ
エコノミー／標準（1600）	約29コマ	約239コマ	約482コマ
パソコン（1024）	約61コマ	約511コマ	約1028コマ
TV（640）	約132コマ	約1096コマ	約2203コマ

※撮影コマ数は、SDカードの種類やJPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。

画像サイズについて

- 画像サイズを大きくすると、ファイルサイズが大きくなるため、内蔵メモリ/SDカードに記録できる画像コマ数が減少しますが、大きくプリントするには適しています。
- 画像サイズを小さくすると、ファイルサイズが小さくなるため、電子メールで送る場合やホームページで使用するのに適しています。ただし、サイズが小さい画像を大きくプリントしようとすると、粒子の粗い画像になります。また、同じ画像サイズでも、プリント時の解像度が高いほどプリントサイズが小さくなります。

画質と圧縮について

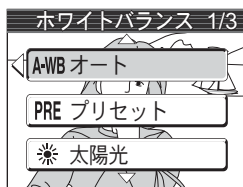
画像を記録する際に、処理を施して画像のファイルサイズを小さくすることを圧縮といいます。
- 圧縮率を高くすると、ファイルサイズが小さくなり、内蔵メモリ/SDカードに記録できる画像コマ数は増加しますが、画質が低下し、細かい部分の再現性は低下します。
- 圧縮率を低くすると、ファイルサイズが大きくなり、内蔵メモリ/SDカードに記録できる画像コマ数は減少しますが、画像の細部の描写が維持され、高画質になります。

画像モード表示について

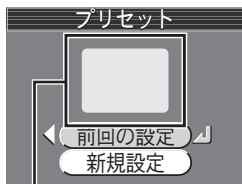
画像モードを設定すると、設定した画像モードのアイコンが液晶モニタに表示されます。

ホワイトバランス

人間の目は、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。それに対してデジタルカメラでは、照明光の色に合わせて白色の調整を行う必要があります。この調整を「ホワイトバランス」を合わせるといいます。

- オート（A-WB）で意図どおりのホワイトバランスにならない場合や、特定の照明光や撮影条件に固定したい場合にはオート（A-WB）以外のホワイトバランスにセットしてください。
- ホワイトバランスの設定を変更すると、液晶モニタの背景画像に反映されます。

設定	内容
A-WB オート	照明の状態に合わせて、カメラがホワイトバランスを自動的に調整します。ほとんどの場面で使用できます。
PRE プリセット	撮影者が白の被写体を基準にホワイトバランスを調整することができます（76）。
太陽光	太陽光での撮影に適しています。
電球	白熱電球を灯している室内での撮影に適しています。
蛍光灯	蛍光灯を灯している室内での撮影に適しています。
曇天	曇り空の下での撮影に適しています。
スピードライト	スピードライトを発光させて撮影する場合に適しています。

プリセットホワイトバランスについて

プリセットホワイトバランスは、強い色合いの照明下でホワイトバランスを調整する場合に使用します（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など）。「ホワイトバランス」メニューからPRE（プリセット）を選択すると、レンズが望遠側にズーミングして、液晶モニタに右のようなプリセットホワイトバランス設定画面が表示されます。

設 定	内 容
前回の設定	前回プリセットされたホワイトバランスに設定します。
新規設定	新規にホワイトバランス値を測定するときに設定します。撮影に使用する照明下で、紙などの白い被写体をホワイトバランス測定窓に映して「新規設定」を選択し、マルチセレクターの㉃を押すと、新規にプリセットホワイトバランス値を測定します。プリセット中にはシャッター音がして、ズームレンズが作動しますが、画像は記録されません。

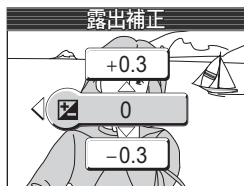
ホワイトバランス表示

ホワイトバランスをオート（A-WB）以外に設定すると、設定したホワイトバランス表示が液晶モニタに表示されます。

露出補正

MENU ▶ 露出補正

カメラが決めた適正露出値を意図的に変えることを露出補正といいます。露出は、－ 2.0EV から＋2.0EVの範囲で補正できます。

- 露出補正を行うと、液晶モニタの背景画像に反映されます。

露出補正値の選択

- 構図の大部分が非常に明るい場合（太陽が反射する水や砂、雪を撮影する場合など）、背景が被写体よりも明るすぎる場合は、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。
  被写体が暗すぎるときは補正値を＋側にセットしてください。
- 構図の大部分が非常に暗い場合（濃い緑の森を撮影する場合など）、背景が被写体よりも暗すぎる場合は、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。
  被写体が明るすぎるときは補正値を－側にセットしてください。

露出補正値表示

露出補正を0 以外にセットすると、露出補正値が液晶モニタに表示されます。

連写

MENU ▶ S 連写

撮影状況に合わせて、1コマ撮影または2種類の連続撮影から選択します。

設 定	内 容
S 単写	シャッターボタンを深く押し込むと、1 コマの画像を撮影します。そのままシャッターボタンを押し続けても、連続撮影はできません。
連写	シャッターボタンを深く押し続けることにより、約1.5 コマ/ 秒で連続撮影できます（E3200は、画像モードが3M 標準（2048）の場合、連続で約3 コマ撮影できます。E2200では、画像モードが 2M 標準（1600）の場合、連続で約6コマ撮影できます。）。
マルチ連写	シャッターボタンを深く押し込むと、約1.5コマ/秒で16 コマの連続写真を撮影します（E3200では最高5枚まで、E2200では1枚撮影できます）。16 コマの画像は4 × 4 コマに並べられて、1 つの画像として保存されます。画像モードは自動的に、E3200では 3M 標準（2048）に、E2200では 2M 標準（1600）に設定されます。

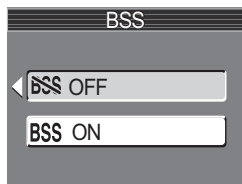
「連写」または「マルチ連写」に設定した場合のご注意

- オートフォーカス（31）、露出（77）、ホワイトバランス（75）は1 コマ目の条件に固定されます。
- スピードライト（34）は自動的に発光禁止になります。また、BSS（79）は解除されます。
- 「マルチ連写」に設定した場合は、電子ズーム（28）は作動しません。また、電子ズーム作動中は「マルチ連写」に設定できません。

連写モード表示

「連写」または「マルチ連写」に設定すると、連写モード表示が液晶モニタに表示されます。

BSS

BSS とは「ベストショットセレクタ」(Best Shot Selector)のことで、シャッターボタンを深く押し続けると、最大10 コマまでの画像を連続撮影し、撮影された画像のうちカメラが自動的により鮮明な画像を1 コマ選んで内蔵メモリ/SD カードに記録する機能です。BSS をON にすると、次のような手ブレをしやすい撮影時に効果的です。

- 望遠側にズーミングしている場合
- マクロ撮影時
- 照明が暗いときでスピードライトを使用しない場合

設定	内容
OFF	BSSを設定しません。
BSS ON	フォーカス、露出、オートホワイトバランスは撮影する最初の画像で決定します。スピードライトは自動的に発光禁止になります。

BSSについてのご注意

BSSを設定しても、動いている被写体を撮影したり、連続撮影中に構図を変えると、適切な結果が得られない場合があります。

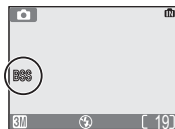
連写設定時のBSS について

連写を「単写」以外に設定しているときにBSS をON に設定すると連写の設定は解除されます。また、BSS を「ON」に設定しているときに連写を「単写」以外に設定すると、BSS は自動的に「OFF」になります。

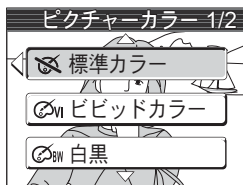
「セルフタイマー」設定時のBSS について

BSS を「ON」に設定していても、セルフタイマー撮影時はBSS は機能しません。

BSS設定時の表示

BSSがONに設定されていると、BSS表示が液晶モニタに表示されます。

ピクチャーカラー

撮影する画像に効果をつけます。効果は、5種類から選択します。ピクチャーカラーを設定すると、液晶モニタの表示も設定に従って表示されます。

- ピクチャーカラーの設定を変更すると、液晶モニタの背景画像に反映されます。

設定	内容
標準カラー	自然な色調になります。
VI ビビッドカラー	はっきりした色調になります。
BW 白黒	モノクロになります。
SE セピア	セピア色の色調になります。
C クール	ブルー系のモノトーンになります。

ホワイトバランスの設定について

白黒、セピア、クールに設定した場合は、撮影メニューの「ホワイトバランス」は選択できません。

ピクチャーモード表示

ピクチャーモードを標準カラー以外に設定すると、設定したピクチャーモード表示が液晶モニタに表示されます。

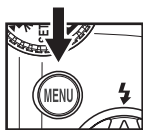
再生メニューについて

再生メニュー一覧

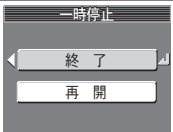
再生メニューでは、以下の項目が設定できます。

メニュー項目	内容	👁
プリント指定	DPOF 対応プリンタでプリントする場合の画像を選択します。プリント枚数やプリント時に書き込む撮影情報・日付も設定できます。	58
スライドショー	内蔵メモリ/SDカードに記録されている画像を順番に自動再生します。	82
削除	全画像、または選択した画像を削除します。	83
プロテクト設定	不用意に画像を削除しないように画像にプロテクト（保護）をかけます。	85
転送マーク設定	全画像、または選択した画像をパソコンに転送する設定を行います。	86
スモール ピクチャー	撮影した画像から、小さいサイズの画像を作成します。	88
画像コピー	内蔵メモリ内の画像をSDカードに、またはSDカード内の画像を内蔵メモリにコピーします（このメニュー項目は、SDカードを挿入したときのみ、表示されます）。	89

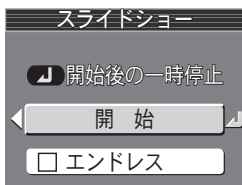
再生メニューの表示方法

- 液晶モニタに再生画面が表示されているとき、**MENU** ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。メニュー画面の操作方法については「撮影メニュー」（👁71）をご覧ください。

- メニュー画面を終了するには、**MENU** ボタンを押します。

スライドショー

▶ ▶ MENU ▶ スライドショー

画像を約3秒間隔で順番に再生する、スライドショーを行います。

1

スライドショー
開始後の一時停止
開　始
□ エンドレス

マルチセレクターの▲または▼で「開始」を選択します。

2

Ⓞを押すと、スライドショーが開始されます。

機 能	ボタン	内 容
一時停止		スライドショーが一時停止し、画面上にメニューが表示されます。スライドショーを再開するには「再開」を選択してⓄを押します。スライドショーを終了するには「終了」を選択してⓄを押します。 一時停止 終　了 再　開
コマ送り		▼または▶を押すとコマ送りします。押し続けると早送りします。
コマ戻し		▲または◀を押すとコマ戻しします。押し続けると巻き戻します。
終了	MENU	スライドショーを終了して再生画面に戻ります。

スライドショーについてのご注意

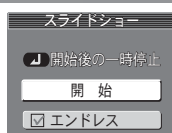
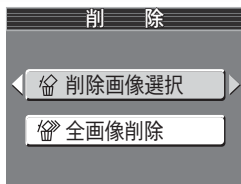
- 「エンドレス」設定にしても、スライドショーを開始してカメラの操作をせずに30分経過すると、オートパワーオフ機能により、自動的にカメラの電源がOFFになります。
- スモールピクチャー（88）はスライドショーでは再生できません。
- 動画（66）は1フレームのみ表示されます。

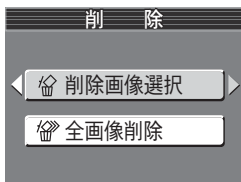
スライドショーの自動繰り返し再生

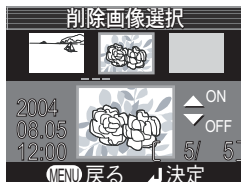
スライドショーで画像を自動的に繰り返し再生するには、スライドショー開始画面で▲または▼を押して「エンドレス」を選択し、Ⓞを押します。「エンドレス」の前の□に✔が入ります。

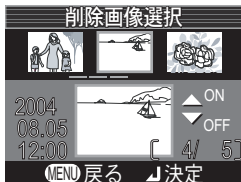
- 解除するにはもう一度Ⓞを押して✔をはずします。
- 「開始」を選択してⓄを押すとスライドショーを開始します。

削除

▶ MENU ▶ 削除

画像を削除できます。
SDカードをカメラにセットしていない場合は、内蔵メモリ内の画像が削除されます。
SDカードをカメラにセットすると、SDカード内の画像が削除されます。
内蔵メモリ内の画像を削除したいときには、必ずSDカードを取り出してから行ってください。

選択画像の削除

1

マルチセレクターの▲または▼で「削除画像選択」を選択します。

2

▶を押すと削除画像選択画面に切り換わります。

3

◀または▶を押して、画像を選択します。

4

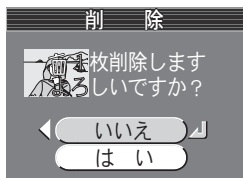
▲（ON）を押して、削除する画像を設定します。

- 設定した画像には🗑マークが表示されます。

5

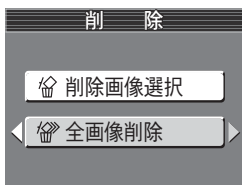
3と**4**の手順を繰り返し、削除する画像を選択します。

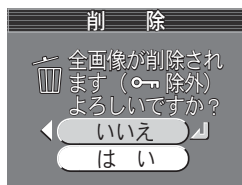
- 削除の設定を取り消すときは、🗑 マークが表示された画像上で ▼（OFF）を押して、🗑マークを消してください。

6

⏎を押すと削除確認画面が表示されます。▲または▼を押して「いいえ」か「はい」を選択し、⏎を押すと選択が実行されます。

全画像の削除

内蔵メモリ/SDカード内のすべての画像を削除します。ただし、プロテクト設定された画像は削除されません。

1

マルチセレクターの▲または▼で「全画像削除」を選択します。

2

▶を押すと削除確認画面が表示されます。

- ▲または▼を押して「いいえ」か「はい」を選択し、⏎を押すと選択が実行されます。

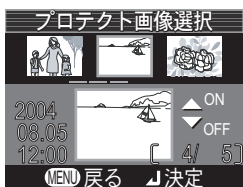
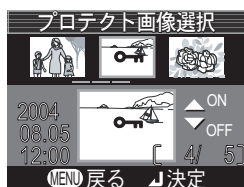
画像の削除について

- 削除した画像は元に戻すことはできませんのでご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- O⊸ が表示されている画像はプロテクト（保護）設定されているので削除されません（85）。

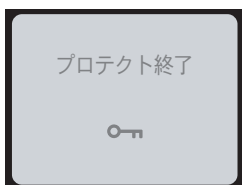
プロテクト設定

▶ ▶ MENU ▶ プロテクト設定

内蔵メモリ/SD カード内に記録されている画像を誤って削除しないようにプロテクト（保護）をかける画像を選択します。

1

マルチセレクターの◀または▶を押して、画像を選択します。

▲（**ON**）を押して、プロテクト設定を行います。

- プロテクト設定された画像には マークが表示されます。
- 1 と2 の手順を繰り返し、プロテクトをかける画像すべてを選択します。
- プロテクトを解除する場合は、マークが表示された画像上で▼（**OFF**）を押して マークを消してください。

3

ボタンを押すと操作完了です。画像のプロテクト状態を変更しないでプロテクト設定を終了する場合は、**MENU** ボタンを押してください。

プロテクト設定についてのご注意

プロテクト設定をした画像は削除ができなくなります。ただし、内蔵メモリ/SD カードを初期化するとプロテクト設定された画像を含むすべての像が消去されてしまいますのでご注意ください。

プロテクト表示

プロテクト設定した画像には再生時にプロテクトアイコンが表示されます。

転送マーク設定

▶ MENU ▶ 転送マーク設定

撮影した全画像をパソコンに転送するか、または全画像を転送しないようにするかを設定します。また、転送する画像を選択できます。

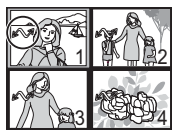
設 定	内 容
全ON	撮影した全画像を転送設定します。設定後に撮影する画像はすべてONになります。
全OFF	撮影した全画像の転送設定を解除します。設定後に撮影する画像はすべてOFFになります。
複数画像選択	画像ごとに転送設定を設定/解除します。

転送マーク設定についてのご注意

- 転送設定できる画像は999コマまでです。999コマを超える画像を転送する場合はPicture-Project を使用すると、すべての画像を一括で転送できます。詳しくはPictureProjectのリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。
- E3200/E2200 以外のニコン製デジタルカメラで転送設定したSDカードを挿入しても転送設定は認識されません。E3200/E2200 で再度転送設定してください。
- E3200/E2200以外のニコン製デジタルカメラで非表示設定された画像はE3200/E2200で再生できますが、転送することはできません。非表示設定された画像を転送する場合はPictureProject の ボタンを使用してください。転送方法については、PictureProjectリファレンスマニュアルをご覧ください。

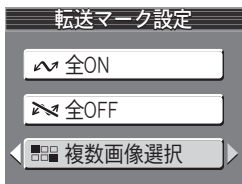
転送設定

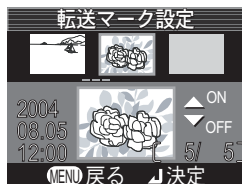
- 初期設定では、撮影された画像すべてに （転送）アイコンが自動的に表示されます。

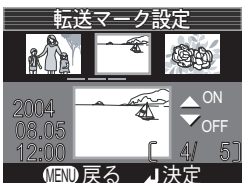
1コマ再生モード

サムネイル再生モード

- PictureProject がインストールされたパソコンとカメラを専用USB ケーブルUC-E6 で接続して、ボタンで画像を転送すると、アイコンの付いた画像がパソコンに転送されます（55）。

画像ごとに転送設定 / 解除するには

1

マルチセレクターの▲または▼で「複数画像選択」を選択します。

2

▶を押すと転送マーク設定画面に切り換わります。

3

◀または▶を押して、画像を選択します。

4

▲（ON）を押して、転送する画像を設定します。

- 転送設定された画像には マークが表示されます。

5 **3**と**4**の手順を繰り返し、転送する画像すべてを設定します。

- 転送を解除する場合は▼（OFF）を押して マークを消してください。

6

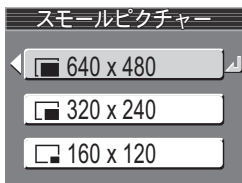
ボタンを押すと操作完了です。画像の転送設定状態を変更しないで転送設定を終了する場合は、**MENU** ボタンを押してください。

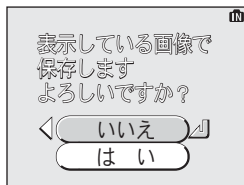
スモールピクチャー

▶ ▶ MENU ▶ スモールピクチャー

撮影した画像から小さいサイズの別画像を作成します。スモールピクチャーでは、次の画像サイズが選択できます。

サイズ（ピクセル）	内 容
640 × 480	テレビでの表示に適しています。
320 × 240	ホームページでの使用に適しています。読み込みに要する時間が短く済みます。
160 × 120	電子メールに添付した場合に、送信・受信に要する時間が短く済みます。

1

スモールピクチャーでは、サイズの選択画面が表示されます。
▲または▼を押してサイズを選択します。

2

↵を押します。

- 確認画面が表示されます。「はい」を選択して↵を押します。
- キャンセルする場合は、「いいえ」を選択して↵を押します。

スモールピクチャーを作成する場合のご注意

- スモールピクチャー、トリミング（52）で作成された画像からスモールピクチャーを作成することはできません。
- E3200/E2200 以外で撮影された画像に対しては、スモールピクチャー機能の動作は保証しておりません。

スモールピクチャーについて

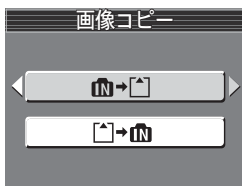
- 作成されたスモールピクチャーは、JPEG 形式で約1/16 に圧縮して保存されます。
- ファイル名は、先頭文字「SSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に1 を加えた番号）を付けた名前（拡張子は.JPG）となります。
  例：SSCN0015.JPG
- スモールピクチャーの拡大表示はできません。
- サムネイル再生時、スモールピクチャーはグレーの枠で囲まれ、表示されます。
- スモールピクチャーは、ダイレクトプリント（62）では印刷できません。

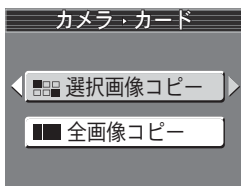
画像コピー

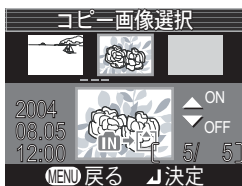
▶ ▶ MENU ▶ 画像コピー

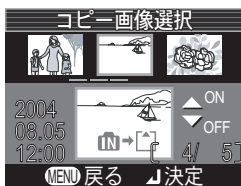
内蔵メモリの画像をSDカードに、SDカードの画像を内蔵メモリにコピーすることができます。
アイコンのINは内蔵メモリを表し、[▲]はSDカードを表します。
このメニュー項目は、SDカードを挿入したときのみ、表示されます。

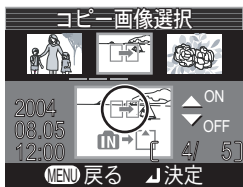
選択画像のコピー

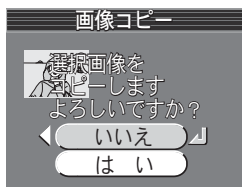
1

マルチセレクターの▲または▼で、IN→[▲]（内蔵メモリ→**SD**カード）または[▲]→IN（**SD**カード→内蔵メモリ）を選択し、▶を押します。

2

▲または▼で「選択画像コピー」を選択します。

3

▶を押すとコピー画像選択画面に切り換わります（ここでは手順**1**でIN→[▲]を選択した場合を例にしています）。

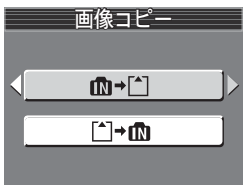
4

◀または▶を押して、画像を選択します。

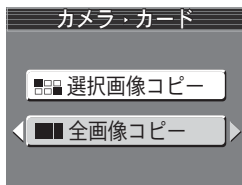
5

▲（ON）を押して、コピーする画像を設定します。
- 設定した画像には［⇒］が表示されます。
- 4と5の手順を繰り返し、コピーする画像を選択します。
- コピーの設定を取り消すときは、［⇒］マークが表示された画像上で▼（OFF）を押して、［⇒］マークを消してください。

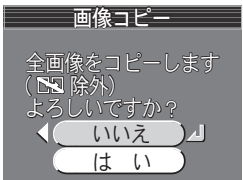
6

⏎ボタンを押すと画像コピー画面が表示されます。
- ▲または▼を押して「いいえ」か「はい」を選択し、⏎を押すと選択が実行されます。

全画像のコピー

内蔵メモリ/SDカード内のすべての画像をコピーします。

1

マルチセレクターの▲または▼で、IN→［SD］（内蔵メモリ→SDカード）または［SD］→IN（SDカード→内蔵メモリ）を選択し、▶を押します。

2

▲または▼で「全画像コピー」を選択します。

3

▶を押すと画像コピー画面が表示されます。
- ▲または▼を押して「いいえ」か「はい」を選択し、⏎を押すと選択が実行されます。

画像コピーについてのご注意

- コピー先のメモリ容量が足りない場合には、「画像を登録できません」（112）のメッセージが表示されます。不要な画像を削除したり、新しいSDカードに交換する（コピー先がSDカードの場合）など、対処してから画像コピーを行ってください。
- E3200では10MB以上、E2200では5MB以上の動画はコピーできません。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンでレタッチした画像の画像コピーは、動作保証外です。

コピーした画像のファイル名について

- 「全画像コピー」の場合、画像はフォルダごとコピーされ、ファイル名もコピー元の画像のままです。
- 「選択画像コピー」の場合、コピー先にある画像のファイル番号の最大値+ 1 からの連番でファイル名が付きます。

例：コピー先のファイル番号の最大値が15（DSCN0015.JPG）の場合
　　コピーした画像のファイル名は、DSCN0016からの連番になります。

画像コピー後の撮影時には、画像コピー時に付けられたファイル番号+1からの連番でファイル名が付きます。

画像のDPOFプリント設定（プリント指定）について

DPOFプリント設定（プリント指定）を行った画像をコピーした場合、DPOFプリント設定の情報はコピーされません。

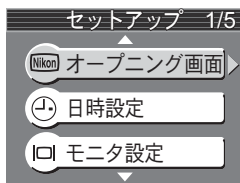
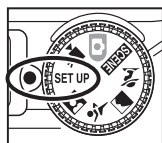
セットアップメニューについて

セットアップメニュー一覧

セットアップメニューでは以下の項目が設定できます。

メニュー項目	内容	📖
オープニング画面	カメラの電源をONにしたときに、液晶モニタに表示される オープニング画面を選択します。	93
日時設定	カメラに内蔵された時計の日時を設定します。	94
モニタ設定	液晶モニタの表示を設定します。	96
デート写し込み	撮影時に日付と時刻を画像上に写し込みます。	97
画面の明るさ	液晶モニタの明るさを調整します。	99
操作音	カメラの操作音や、シャッター音、オープニング音、音量（E3200のみ）を設定します。	100
手ブレお知らせ	手ブレ確認を行うかどうかを設定します。	101
オートパワーオフ	バッテリー節約のため、液晶モニタが自動的に消灯するまでの時間を設定します。	102
メモリ/カードの初期化	内蔵メモリやSDカードを初期化します。	103
表示言語/LANGUAGE	カメラに表示する言語を設定します。	104
USB	ご使用のパソコンのOSに合わせてUSB通信方式を設定します。	55
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します。	104
設定クリア	カメラにセットされた各種設定を初期設定にリセットします。	105
電池設定	カメラにセットした電池の種類を設定します。	106
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョンを表示します。	106

セットアップメニューの表示方法

- モードダイヤルを回して SET UP に合わせると、液晶モニタにセットアップメニューが表示されます。

- セットアップメニューを終了するには、モードダイヤルを他のモードに切り換えるか、▶（再生）ボタンを押し再生モードに入ります。

オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに、液晶モニタに表示されるオープニング画面を選択します。

設定	内容
なし	カメラの電源をONにしても、オープニング画面は液晶モニタに表示されず、そのまま撮影画面になります。
Nikon	カメラの電源をONにしたときに、右のようなオープニング画面が液晶モニタに表示されます。
アニメーション（初期設定）	カメラの電源をONにしたときに、短いアニメーションが液晶モニタに表示されます。
撮影した画像	内蔵メモリ/SDカード内の画像から、オープニング画面を選択できます。 **1**「画面の選択」画面が表示されるので、マルチセレクターで画像を選択します。 **2** Ⓞを押します。 なお、内蔵メモリ内の画像を選択したいときには、SDカードをカメラから取り出してください。

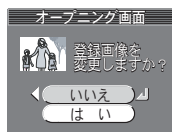
「撮影した画像」でスモールピクチャーまたはトリミング画像を選択する場合

- スモールピクチャーを選択する場合は、640 × 480のみ設定可能です。
- トリミング画像を選択する場合は、640 × 480以上の画像のみ設定可能です。

「撮影した画像」でオープニング画面を選択した場合には

オープニング画面メニューの「撮影した画像」で、すでに画像を登録している場合、画像を変更するかどうかを確認する画面が表示されます。変更する場合は「はい」を、変更しない場合は「いいえ」を選択し、Ⓞを押してください。

日時設定

SET UP ▶ 日時設定

カメラに内蔵された時計の日時とタイムゾーンを設定します。
セットアップメニューの日時設定は、カメラをはじめてご使用になるときの日時設定が完了すると使用できます。はじめてのご使用時の日時設定については、「日付と時刻を設定する」（24）をご覧ください。

設定	内容
日時	日付と時刻を設定します（24）。
ワールドタイム	使用する日時のタイムゾーンを設定します。 通常は自宅（🏠）を選択してタイムゾーンを設定します。 訪問先（✈）を選択すると、自動的に自宅との時差を算出して、選択した地域の日付と時刻に日時設定されます。時差のある地域でカメラを使用するときに使用します。 **1** マルチセレクターの▲または▼で自宅または訪問先を選択し、Ⓞを押します。 • ▼で「夏時間」へ移動してⓄを押すと、✔が付き、夏時間（時刻が１時間進む）が使用できます。再度Ⓞを押すと✔を消すことができます。 **2** ▶を押してタイムゾーンの設定画面に切り換えます。 **3** ◀または▶を押して、タイムゾーン（地域）を選択し、Ⓞを押します。

カメラの内蔵時計について

カメラの内蔵時計は一般的な時計（腕時計など）ほど精度は良くありません。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

タイムゾーンと時差について

タイムゾーンを選択すると、時差を自動的に算出して、時計を合わせます。

タイムゾーン（都市名）	時差
Tokyo, Seoul	0
Beijing, HK, Singapore	-1
Bangkok, Jakarta	-2
Colombo, Dacca	-3
Islamabad, Karachi	-4
AbuDhabi, Dubai	-5
Moscow, Nairobi	-6
Athens, Helsinki	-7
Madrid, Paris, Berlin	-8
London, Casablanca	-9
Azores	-10
Fernando de Noronha	-11

タイムゾーン（都市名）	時差
BuenosAires, SanPaulo	-12
Caracas, Manaus	-13
EST(EDT): NewYork, Tronto, Lima	-14
CST(CDT): Chicago, Houston, MexicoCity	-15
MST(MDT): Denver, Phoenix, La Paz	-16
PST(PDT): LosAngeles, Seattle, Vancouver	-17
Alaska, Anchorage	-18
Hawaii, Tahiti	-19
Midway, Samoa	-20
Auckland, Fiji	+3
NewCaledonia	+2
Sydney, Guam	+1

ワールドタイムの設定についてのご注意

- 「ワールドタイム」は、「日時」で日付と時刻が設定されていないと選択できません。
- 時差は1時間単位で自動的に設定されます。時刻を正確に合わせる場合は、日時設定（24）で設定してください。
- 自宅と訪問先を同一のタイムゾーンに設定することはできません（113）。

ワールドタイム表示

訪問先を選択すると、✈アイコンが液晶モニタに表示されます。
撮影画像には設定した訪問先の日時が記録されます。

モニタ設定

SET UP ▶ モニタ設定

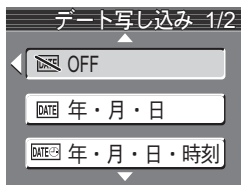
液晶モニタの表示を設定します。

設定	内容
情報ON	撮影・再生の際、液晶モニタに撮影情報を表示します。
情報OFF	撮影情報を非表示にします。
方眼（情報OFF）	方眼を表示します。撮影情報は「情報OFF」の場合と同じになります。（📷（オート撮影）モード時のみ）
モニタOFF	液晶モニタを消灯します。節電モードになるため、ピントが合うまでの時間が点灯時に比べ若干遅くなります。（📷（オート撮影）モード時のみ）

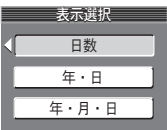
デート写し込み

撮影時に日付と時刻を画像上に写し込みます。

デート写し込みを設定すると、日付は画像に直接写し込まれますので、DPOF に対応していないプリンタでも日付入りの画像をプリントできます。

日付は撮影と同時に画像の右下に写し込まれます。撮影後に写し込むことはできませんのでご注意ください。

設 定	内 容
OFF	日付、時刻のどちらも写し込みません。
年. 月. 日	画像上に日付のみを写し込みます。
年. 月. 日. 時刻	画像上に日付と時刻の両方を写し込みます。
誕生日カウンター	画像上に登録日から撮影日までの経過日数を写し込みます。

日付・時刻の写し込みについて

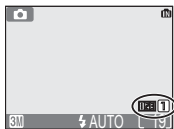
- 「日時設定」（24）で日付をセットしていない場合、「デート写し込み」は「OFF」以外選択できません。
- 一度写し込まれた日付は画像から消すことはできません。
- 画像モードが TV の場合、写し込まれた日付データが読みづらい場合があります。画像モードを PC 以上に設定してください。
- 年、月、日の表示順序は、セットアップメニューの「日時設定」で選択した表示順序と同じになります。
- 再生メニュー「プリント指定」の設定にかかわらず、写し込まれた日付や時刻はプリントされます。DPOF の日付機能に対応していないプリンタでもプリントされます。
- 「プリント指定」による日付設定との違いについては、61 ページをご覧ください。
- 次の撮影を行う場合は、「デート写し込み」機能は、自動的にキャンセルされます。
  E3200の場合
  パノラマアシスト、動画
  E2200の場合
  BSS、連写メニューの「連写」、アシスト機能付きシーンモードの「スポーツ」「スポーツ観戦」、パノラマアシスト、動画

誕生日カウンター

日付を登録し、その日付から撮影日までの日数を画像上に写し込みます。日数を写し込むには、日数登録を行い、「デート写し込み」で「誕生日カウンター」を選択します。
登録日が撮影日より前の場合は、経過日数が写し込まれます。
登録日が撮影日より後の場合は、先頭に▲マークがつき、登録日までの日数が写し込まれます。

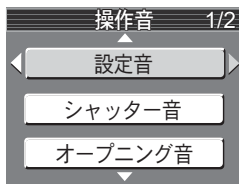
設定	内容
日付登録	登録日を設定します。3日分登録できます。日付登録画面でマルチセレクターの▲または▼を押して登録日を選択し、▶を押します。 日付設定画面が表示されるので、日付を設定します。日付設定の方法は、「日付と時刻を設定します」（☞24）と同じです。 1910年1月1日～2037年12月31日の範囲で設定できます。
表示選択	マルチセレクターの▲または▼を押して表示形式を選択し、Ⓞを押します。

誕生日カウンター表示

誕生日カウンターを設定した場合には、撮影時に誕生日カウンターアイコンと日付登録番号が表示されます。

画面の明るさ

液晶モニタの明るさを5段階に調整します。画面上に表示される画像を明るさの目安にしながら、マルチセレクターの▲または▼を押して明るさを選択し、Ⓢを押して決定します。メニュー画面に戻る場合は、マルチセレクターの◀を押してください。

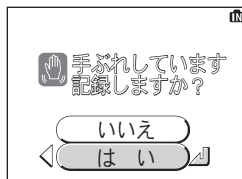
操作音

E3200では、カメラの状態を知らせる操作音、シャッター音、オープニング音、音量をそれぞれ設定します。
E2200では、操作音のON/OFFのみ設定できます。OFFにすると、設定音、シャッター音、オープニング音がすべて無音になります。音色、音量の調整はできません。

設定	内容
設定音 （**E3200のみ**）	カメラの状態を知らせる操作音のON/OFFを設定します。次のようなときに、それぞれ異なる音色で操作音が鳴ります。 • カメラの電源をONにしたとき • モードダイヤルを回したとき • 撮影モードと再生モードを切り換えたとき • メニューを確定したとき • エラーが起きたとき （画面：設定音 OFF / ON）
シャッター音 （**E3200のみ**）	▲または▼を押してシャッター音を3種類から選択し、最後に⊙を押して設定を完了します。 （画面：シャッター音 1 / 2 / 3 / OFF）
オープニング音 （**E3200のみ**）	カメラの電源をONにしたときのオープニング音のON/OFFを設定します。 （画面：オープニング音 OFF / ON）
音量 （**E3200のみ**）	音声メモ、動画を再生したとき、およびカメラを操作したとき（シャッター音、オープニング音）のスピーカーの音量を「大」、「標準」の2段階で設定します。「OFF」に設定すると、シャッター音、オープニング音は出なくなります。音声メモ、動画再生時の音量は、最小の音量になります。 （画面：音量 大 / 標準 / OFF）

手ブレお知らせ

SET UP ▶ 手ブレお知らせ

画像の撮影後に手ブレお知らせ画面を表示するかどうか選択します。

「ON」を選択すると、手ブレの可能性が高い場合のみ、画像の撮影後に手ブレお知らせ画面が表示されます。
手ブレお知らせ画面では、「はい」を選択するとそのまま画像を記録し、「いいえ」を選択すると画像が削除されます。

手ブレお知らせが機能しない撮影モードについて

撮影モードが、連写（78）、マルチ連写（78）、BSS BSS（79）、シーンモードのスポーツ（42）、ミュージアム（47）、打ち上げ花火（47）、パノラマアシスト（48）の場合は、「手ブレお知らせ」をONに設定しても「手ブレお知らせ」はありません。

手ブレ画像の確認について

撮影画像の手ブレ状態を確認してから削除するかどうか決めたい場合は、「はい」を選択して一度画像を記録し、▶ボタンを押してください。

オートパワーオフ

SET UP ▶ 1m オートパワーオフ

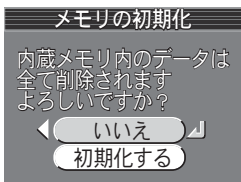
操作のない状態が続いたときにカメラの機能を停止して、バッテリーの消耗を防ぎます。

設定	内容
オートパワーオフ	オートパワーオフ機能が作動するまでの時間を30秒、1分（初期設定）、5分、30分のいずれかに設定できます（23）。メニュー表示中は3分に固定、AC アダプタEH-62B使用時は30分に固定されます。 オートパワーオフ: 30秒 / 1分 / 5分 / 30分
スリープモード	ONに設定すると、オートパワーオフで設定している時間以内でも、被写体の明るさに変化がない状態が続くと、オートパワーオフに入ります。 スリープモードに入るまでの経過時間は、オートパワーオフが30秒または1分の場合には、30秒、5分または30分の場合には、1分です。 スリープモード: OFF / ON

メモリ/カードの初期化

内蔵メモリ/SDカードを初期化（フォーマット）する場合に使用します。
SDカードをカメラにセットしていない場合は、内蔵メモリが初期化されます。
SDカードをカメラにセットすると、SDカードが初期化されます。
内蔵メモリを初期化したいときには、必ずSDカードを取り出してから行ってください。

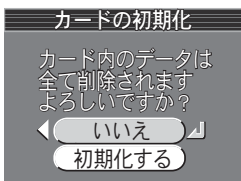
内蔵メモリを初期化する

1

マルチセレクターの▲または▼で「初期化する」を選択します。
- 初期化を行わない場合は「いいえ」を選択して㋹を押してください。

2

㋹を押すと初期化が開始され、「メモリ初期化中」というメッセージが表示されます。
- 初期化が終了すると、セットアップメニュー画面に戻ります。

SDカードを初期化する

1

マルチセレクターの▲または▼で「初期化する」を選択します。
- 初期化を行わない場合は「いいえ」を選択して㋹を押してください。

2

㋹を押すと初期化が開始され、「カード初期化中」というメッセージが表示されます。
- 初期化が終了すると、セットアップメニュー画面に戻ります。

メモリ初期化のご注意

- SD カードの初期化は、カメラで行ってください。パソコンで初期化（フォーマット）を行うと、データの書き込み、読み出しなどに不具合が発生することがあります。
- 「**メモリ初期化中**」や「**カード初期化中**」のメッセージが液晶モニタに表示されている間は、カメラの電源をOFFにしたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。
- 内蔵メモリ/SDカードを初期化すると、内蔵メモリ/SDカード内のデータはすべて消去されます。初期化する前に保存したい画像をパソコンに転送することをおすすめします。

表示言語/LANGUAGE

SET UP ▶ 表示言語 / LANGUAGE

メニュー画面やメッセージ画面に表示する言語を選択します。表示言語は、「**Deutsch**（ドイツ語）」、「**English**（英語）」、「**Espanôl**（スペイン語）」、「**Français**（フランス語）」、「**Italiano**（イタリア語）」、「**Nederlands**（オランダ語）」、「**Svenska**（スウェーデン語）」、「**日本語**」、「**中文(简体)**（中国語）」、「**한글**（韓国語）」のいずれかに切り換えることができます。

表示言語/LANGUAGE
Deutsch Nederlands
English Svenska
Español 日本語
Français 中文(简体)
Italiano 한글
MENU 戻る 決定

ビデオ出力

SET UP ▶ NTSC ビデオ出力

ビデオの出力方式を選択します。テレビやビデオデッキなどの接続先の機器に合わせて選択します（54）。

設定	内容
NTSC	NTSC方式に設定します。主に、日本、アメリカ、カナダ、韓国で使われている方式です。
PAL	PAL方式に設定します。主に、欧州、中国で使われている方式です。

設定クリア（初期設定）

カメラにセットされた各種設定を初期設定にリセットします。

設定	内容
いいえ	設定をリセットしません。
はい	各種設定を初期設定にリセットします。

以下の設定項目がリセットされます。

設定項目	初期設定
ポートレートモード	ポートレート
風景モード	風景
スポーツモード	スポーツ
夜景ポートレートモード	夜景ポートレート
SCENE（シーンモード）	パーティー
動画モード	カメラ再生320
スピードライト	AUTO
セルフタイマー	OFF
マクロモード	OFF
画像モード	標準（2048）（E3200）標準（1600）（E2200）
ホワイトバランス	オート
露出補正	±0
連写	単写

設定項目	初期設定
BSS	OFF
ピクチャーカラー	標準カラー
転送マーク設定	全ON
オープニング画面	アニメーション
モニタ設定	情報ON
デート写し込み	OFF
画面の明るさ	3
設定音	ON
オープニング音	ON
シャッター音	1（E3200）ON（E2200）
音量（E3200のみ）	標準
手ブレお知らせ	ON
オートパワーオフ	1分
スリープモード	OFF

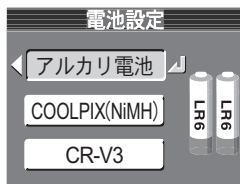
設定クリアを行うとファイル名の連番はクリアされ、次の撮影からは内蔵メモリ/SDカード内にある一番大きいファイル番号の次の番号から連番を開始します（33）。

ファイルの連番を0001にリセットしたいときは

ファイル名の連番を0001にリセットしたいときは、内蔵メモリ/SDカード内の画像をすべて削除する（84）か、内蔵メモリ/SDカードを初期化（103）した後、設定クリアを行ってください。

電池設定

SET UP ▶ LR6 電池設定

カメラにセットした電池の種類を設定します。
電池の種類を変えた場合は、必ず電池設定を行ってください。間違った電池設定をしていると、バッテリーチェック表示が正しく動作しません。

設定	内容
アルカリ電池	単三形アルカリ乾電池をセットしたときに選択します。
COOLPIX (NiMH)	リチャージャブルバッテリー EN-MH1（単三形ニッケル水素電池）をセットしたときに選択します。ニッケルマンガン電池（ニッケル乾電池）や単三形リチウム電池の場合も、この設定にします。
CR-V3	CR-V3リチウム電池をセットしたときに選択します。

バックアップ電池について

バックアップ電池（25）の充電が不充分な場合は、電池設定が初期設定（アルカリ乾電池）に戻ることがあります。

バージョン情報

SET UP ▶ Ver. バージョン情報

カメラのファームウエアのバージョンを確認できます。

別売アクセサリー

E3200/E2200には次の別売アクセサリーが用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

リチャージャブルバッテリー	リチャージャブルバッテリー EN-MH1
バッテリーチャージャー	バッテリーチャージャー MH-71、MH-70
ACアダプタ	ACアダプタEH-62B
ソフトケース	ソフトケースCS-NH1、CS-NH2、CS-CP14
ウォータープルーフケース	ウォータープルーフケースWP-CP1 E3200／E2200専用の水深40mまで使用可能なウォータープルーフケースです。

EN-MH1の充電について

- EN-MH1は、専用チャージャーMH-71もしくはMH-70で2本同時に充電してください。また、2組以上のEN-MH1を使用する場合、残量の異なる電池が混在しないようにしてください。
- 充電式バッテリーはお買い上げ時や長い間使用しなかったとき、持続時間が短い場合があります。これはバッテリーの特性によるもので、数回繰り返し使うことにより充分充電されるようになります。

推奨SDカード一覧

次のSDカードが動作確認されております。

SanDisk製	16MB、32MB、64MB、128MB、256MB
東芝製	16MB、32MB、64MB、128MB、256MB
Panasonic製	16MB、32MB、64MB、128MB、256MB*、512MB*

* 10MB/s以上の高速タイプ

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ

レンズのガラス部分をクリーニングするときは、直接手で触らないようにご注意ください。ほこりや糸くずはブロアーで払います。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布でレンズのガラスの中心から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。

液晶モニタ

ほこりや糸くずはブロアーで払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラ本体

ブロアーを使ってほこりや糸くずを払い、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。海辺などでカメラを使用した後は、真水を湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取り、よく乾かします。

※クリーニングの際、アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

保管について

付録

長期間カメラを使用しないときは電池を取り出してください。電池を取り出す前にカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください：

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60％を越える部屋

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください
カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズに無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください
カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください
極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください
強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください
太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射はCCDの褪色・焼きつきを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

●保管する際には
カメラを長期間使用しないときは、電池を必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安に電池を入れカメラを操作することをおすすめします。

●電池や**AC**アダプタを取り外すときは必ず電源 **OFF** の状態で行ってください
電源ONの状態で、電池の取り出し、ACアダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

●液晶モニタについて
液晶モニタの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。
- 液晶モニタ画面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニタの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

●スミアについて
明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

●**AF**補助光について
AF補助光（12）に使用されているLED（発光ダイオード）は以下のIEC規格に準拠しています。

クラス 1 **LED**製品
IEC60825-1 Edition 1.2-2001

付録

電池の取り扱いについて

●撮影の前に充電池をあらかじめ充電する

リチャージャブルバッテリー EN-MH1で撮影の際は、電池の充電を行ってください。リチャージャブルバッテリー EN-MH1は、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

●電池使用上のご注意

- 電池を電源として長時間使用した後は、電池が発熱していることがありますのでご注意ください。
- 電池を取り出す場合は、カメラの電源をOFFにして、電源ランプが消灯していることを確認してから取り出してください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池は使用しないでください。
- 電池容量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返さないでください。

●予備電池を用意する

撮影の際は、予備電池をご用意ください。特に、海外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●低温時の電池について

電池は一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時に使用する場合は、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の充分な電池を使い、予備の電池を用意する

低温時に消耗した電池を使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は新しい電池か、充分に充電されたリチャージャブルバッテリーを使用し、保温した予備の電池を用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかった電池でも、常温に戻ると使える場合があります。

●電池の接点について

電池の接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、電池を入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

●電池の残量について

電池の特性上、残量がなくなった電池を再度カメラに入れた場合、電池の残量が充分な状態を示す（バッテリー表示が何も表示されない状態）ことがありますのでご注意ください。

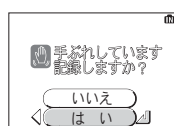
●ニッケル水素電池について

- ニッケル水素電池は、容量が残っている状態で繰り返し充電されると、メモリ効果が発生して早めにバッテリー残量警告が表示されることがあります。最後まで使い切って充電することで正常な状態に戻ります。

  ※ メモリ効果：一時的に電池の容量が低下したような特性を示す現象
- ニッケル水素電池は、使用しないときでも自然放電により容量が低下します。ご使用になる直前に充電することをおすすめします。

●リチャージャブルバッテリー EN-MH1の充電について

EN-MH1は、専用バッテリーチャージャー MH-71で2本同時に充電してください。また、2組以上のEN-MH1を使用する場合、残量の異なる電池が混在しないようにしてください。

●リチャージャブルバッテリー EN-MH1のリサイクルについて

ご使用済みのリチャージャブルバッテリーは貴重な資源です。リチャージャブルバッテリーのリサイクルにご協力ください。＋端子にテープ等を貼り付けて絶縁してから、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターやリサイクル協力店へご持参ください。

Ni-MH

警告メッセージについて

液晶モニタに下記の警告メッセージが表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処方法をご確認ください。

液晶モニタの表示	原因	対処方法	
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	24
電池残量がありません	バッテリーの残量がありません。	カメラの電源をOFFにして電池を交換してください。	18
AF● （AF表示の赤色点滅）	ピントを合わせることができません。	シャッターを半押しして被写体と同じ距離のものにピントを合わせ、そのまま構図を元にもどして撮影してください。	31
	シャッタースピードが低下して手ブレのおそれがあります。	次の方法でカメラを安定させてください。 • スピードライトを使用する • 三脚を使用する • 安定した場所におく • 体に肘を付けて、両手でしっかりとカメラを固定する	34 49 — 28
手ぶれしています 記録しますか？ いいえ はい	撮影した画像は、手ブレのおそれがあります。	「はい」を選択するとそのまま画像を記録し、「いいえ」を選択すると画像を記録せず破棄できます。手ブレお知らせ画面を表示しない設定もできます（101）。	
カード記録中 しばらくおまちください	• 画像の記録中にカメラの電源をOFFにしました。 • 画像の記録中に▶ボタンが押されました。 • 画像の記録中にモードダイヤルが変更されました。	カードへの記録が終了して警告表示が消灯するまでお待ちください。	31
カードがロックされています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」にセットされています。	SDカードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。	21
このカードは使用できません カードに異常があります	SDカードへのアクセス異常です。	• 動作確認済みのSDカードをご使用ください。 • SDカードの端子部分が汚れていないかご確認ください。 • 電源をOFFにして、SDカードが正しく挿入されていることを確認してください。	107 21

付録

警告メッセージについて

液晶モニタの表示	原因	対処方法	📖
[ ] 初期化されていません 初期化する いいえ ▷	SDカードが、E3200/E2200仕様に初期化されていません。	マルチセレクターの▲ボタンを押して、「初期化する」を選択し、Ⓞを押してSDカードを初期化するか、カメラの電源をOFFにして、適切なSDカードに交換してください。	20 103
メモリ残量がありません [ ]	画像を記録する空き容量がありません。	• 画像モードを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • 新しいSDカードを挿入してください。	73 83 20
	画像を転送するための通信情報を書き込む容量がありません。(カメラとパソコンを接続し、Ⓞボタンを押した場合のみ)	不要な画像を削除し、再度Ⓞボタンを押してください。	83
画像を登録できません [ ]	• SDカードのフォーマットが異なります。 • 画像の保存中にエラーが発生しました。 • ファイル番号のオーバーフローです。	• SD カードを再度初期化してください。 • 新しい SD カードに入れ換えるか、内蔵メモリ/SDカード内の不要な画像ファイルを削除してください。	103 20 83
	• 画像の編集(スモールピクチャー、トリミング)で作成された画像か、動画に対して画像の編集を行おうとしました。	• 画像の編集で作成された画像や動画に対して画像の編集を行うことはできません。	88 52
	• 画像をコピーしようとしましたが、コピー先のメモリ容量が足りません。	• SDカードを初期化してください。 • 新しい SD カードに入れ換えるか、内蔵メモリ/SDカード内の不要な画像ファイルを削除してください。	103 20 83
動画記録できません	• SDカードのフォーマットが異なります。 • 動画の保存中にエラーが発生しました。 • ファイル番号のオーバーフローです。 • SD カードに動画を記録するのに時間がかかっています。	• SDカードを初期化してください。 • 新しい SD カードに入れ換えるか、内蔵メモリ/SDカード内の不要な画像ファイルを削除してください。 • 画像記録処理の速い SD カードに交換してください。	103 20 83 66 107

付録

液晶モニタの表示	原因	対処方法	🔍
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	ワールドタイムの設定で、自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しようとしました。	自宅と訪問先のタイムゾーンを再度確認してください。自宅と訪問先のタイムゾーンが同じであれば設定する必要はありません。	94
レンズエラー	レンズ駆動中にエラーが発生しました。	カメラの電源をOFFにして、再度ONにしてください。この現象が続く場合は、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターにご連絡ください。	23
撮影画像がありません	内蔵メモリ/SDカードに撮影された画像が入っていません。	再生モード時：▶ボタンを押してオート撮影モードに切り換え、画像を撮影してください。	30
表示可能な画像がありません	SDカードにE3200/E2200で再生できる画像が入っていません。		
このファイルは表示できません	パソコン、または他社のカメラで作成したファイルです。	撮影したカメラまたはパソコンで再生してください。	—
モードダイヤル位置がずれています	モードダイヤルが正しい位置にセットされていません。	モードダイヤルを回して、モードダイヤル左側の⦿マークにいずれかのモードをセットしてください。	16
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかっています。	画像のプロテクトを解除して、再度画像を削除してください。	85
通信エラー	パソコンに画像転送中、インターフェースケーブルの接続が外れたか、SDカードが取り出されました。	パソコンのモニタに警告メッセージが表示された場合、[OK]をクリックしてPictureProjectを終了してください。カメラの電源をOFFにした後、ケーブルを再接続するか、SDカードを交換して、もう一度電源をONにして転送してください。	23 57
	ご使用のパソコンのOSとカメラのUSB通信方式の組み合わせでは、カメラの⊙（転送）ボタンで転送できません。	カメラの電源をOFFにし、いったんUSBケーブルを外してセットアップメニューを変更し直した後、パソコンと再度接続してください。この操作で警告メッセージが消えない場合には、PictureProjectの転送ボタンをご使用ください	23 55 56 57
転送マーキングされた画像がありません	転送設定された画像がないときに⊙（転送）ボタンでパソコンに画像を転送しようとしました。	カメラとパソコンの接続を外し、少なくとも1枚以上の画像に転送設定をセットして、再度転送してください。	56 57 86

付録

液晶モニタの表示	原因	対処方法	👁
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	カメラとパソコンが正しく接続されていること、および電池の残量が充分であることを確認してください。	22 56
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	カメラの電源をOFFにして、ACアダプタを使用している場合はアダプタを外して、電池を取り出します。再度電池を入れて、電源をONにしてください。システムエラーの表示が続く場合は本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターまでご連絡ください。	18

故障かな？と思ったら

カメラが正常に作動しないときは、お買い上げの販売店や本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターにお問い合わせいただく前に、下表の項目をご確認ください。

●デジタルカメラの特性について
きわめて希なケースとして、液晶モニタに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような状態になった場合は、電源をOFFにして電池を入れ直し、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますと電池が熱くなっていることがありますので、取り扱いには充分にご注意ください。ACアダプタをご使用時は、いったんカメラから取りはずして再度カメラに取り付け、電源をONにしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態のときのデータは、失われるおそれがありますが、すでにSDカードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、本使用説明書裏面に記載されているサービス部またはサービスセンターにお問い合わせください。

こんなときは	ここをご確認ください	📖
液晶モニタに何も写らない	• カメラの電源が入っていません。	22
	• 液晶モニタがオフになっています。	15
	• 電池が正しく装着されていません。または電池室カバーがしっかりと閉まっていません。	18
	• 電池の残量がありません。	22
	• ACアダプタEH-62B（別売）が正しく接続されていません。	—
	• カメラが低消費電力モードになっています。シャッターボタンを半押ししてください。	23
	• USBケーブルが接続されています。	—
	• オーディオビデオ/ビデオケーブルが接続されています。	—
カメラの電源が突然切れる	• 電池の残量がありません。	22
	• 電池の温度が低すぎます。	110
液晶モニタに画質モードなど、カメラの設定内容の情報や画像情報が表示されない	• 撮影情報や画像情報を非表示にセットしている可能性があります。セットアップメニューの「モニタ設定」で撮影情報または画像情報が表示されるように設定してください。	96
液晶モニタの画面がよく見えない	• 周囲の光が明るすぎます。暗い場所に移動してください。	109
	• 液晶モニタの明るさを調整してください。	99
	• 液晶モニタが汚れています。	108

こんなときは	ここをご確認ください	📖
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	• カメラが再生モードになっています。 • 電池の残量がありません。 • AFランプが点滅しています：ピントを合わせることができません（液晶モニタ消灯時）。 • スピードライトランプが点滅しています：スピードライトが充電中です。 • 液晶モニタに「初期化されていません」というメッセージが表示されます：SDカードがE3200/E2200用に初期化されていません。 • 液晶モニタに「メモリ残量がありません」というメッセージが表示されます：内蔵メモリ/SDカードに画像を記録する空き容量がありません。	16 22 30 30 103 83
撮影した画像が暗すぎる（露出不足）	• スピードライトが発光禁止になっています。 • スピードライトが指などでさえぎられています。 • 被写体がスピードライトの光が届かない位置にあります。 • 露出補正値が低すぎます（－側）。	34 28 35 77
撮影した画像が明るすぎる（露出過度）	• 露出補正値が高すぎます（＋側）。	77
ピントが合わない	• オートフォーカスが苦手な被写体です。	31
画像がブレる	• 撮影中にカメラが動きました。次の方法で再度撮影してください。 －スピードライトを使用してください。 －BSS（ベストショットセレクタ）機能を使ってください。 －三脚を使用して、カメラを安定させてください（セルフタイマーを使うと効果的です）。	34 79 45
ノイズが発生し、画像がザラつく	• シャッタースピードが遅すぎます。速いシャッタースピードで撮影するにはスピードライトを使用してください。以下のモードがセットされている場合は、シャッタースピードの低速時にノイズ除去機能が自動的に作動します。撮影状況に合わせてこれらのシーンモードにセットすることをおすすめします。 **E3200**: （夜景ポートレート）モード、SCENE（シーン）モードの（夜景）、（トワイライト） **E2200**: （ポートレート）モード、（風景）モード、SCENE（シーン）モードの（パーティー）、（海・雪）、（夕焼け）、（トワイライト）、（夜景）、（クローズアップ）、（打ち上げ花火）、（モノクロコピー）、（パノラマアシスト）、（オート撮影）モードのS（単写、BSS off時）	34 43 46 40 41 43 45 46 48 78 79

こんなときは	ここをご確認ください	
スピードライトが発光しない	• スピードライトが発光禁止になっています。次の場合、スピードライトは自動的に発光禁止になりますのでご注意ください： －（風景）モード、（スポーツ）モード、（シーン）モードの（夕焼け）、（夜景）、（ミュージアム）、（打ち上げ花火）、（トワイライト）がセットされている場合 －モードダイヤルが（動画）モードにセットされている場合	34 38 66
画像の色合いが不自然になる	• 適切なホワイトバランスが選択されていません。 • ピクチャーカラーが「標準カラー」以外に設定されています。	75 80
画像を再生できない	• パソコンか他社製のカメラで、画像が上書きされました。または名前が変更されました	—
画像の編集（トリミング、スモールピクチャーの作成）ができない	• 表示画像が動画です。画像編集は静止画像に対してのみ可能です。 • 表示画像が画像の編集で作成された画像です。 • 内蔵メモリ/SDカードの空き容量が少ない場合、画像の編集ができない場合があります。画像の削除などを行って、空き容量を確保してから作成してください。	70 52 88 83
再生時に画像の拡大表示ができない	• 表示画像が動画です。 • 表示画像がスモールピクチャーです。 • 表示画像が320 × 240以下にトリミングされています。	70 88 52
カメラをパソコンに接続時、または**SD**カードをカードリーダーやカードスロットに挿入したときに、**PictureProject**が自動的に起動しない	• カメラの電源がOFFになっています。 • ACアダプタEH-62B（別売）が正しく接続されていません。または電池の残量がありません。 • USBケーブルが正しく接続されていません。またはカードがカードリーダー、カードアダプタ、またはカードスロットに正しく挿入されていません。 • カメラのデバイス登録が正しく行われていません。 • セットアップメニューの「USB」を **PTP** に設定しています（Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE、Windows 98、Mac OS 9の場合）。 PictureProjectについてはPictureProjectリファレンスマニュアル（CD-ROM）をご参照ください。	23 — 56 — 55

付録

主な仕様

項目		内容
型式		ニコンデジタルカメラE3200（COOLPIX3200） ニコンデジタルカメラE2200（COOLPIX2200）
有効画素数		3.2メガピクセル（E3200） 2.0メガピクセル（E2200）
撮像素子		E3200 1/2.7型原色CCD、総画素数3.34メガピクセル E2200 1/3.2型原色CCD、総画素数2.14メガピクセル
	画像サイズ	• 2048 × 1536［高画質（2048*）/ 標準（2048）］（E3200のみ） • 1600 × 1200［エコノミー（1600）］（E3200のみ） • 1600 × 1200［高画質（1600*）/標準（1600）］（E2200のみ） • 1024 × 768［パソコン（1024）］ • 640 × 480［TV（640）］
レンズ		3倍ズームニッコールレンズ
	焦点距離	E3200 f = 5.8 ～ 17.4 mm（35mm 判換算38 ～ 115 mm） E2200 f = 4.7 ～ 14.1 mm（35mm 判換算36 ～ 108 mm）
	絞り	F2.8 ～ F4.9（E3200）；F2.6～F4.7（E2200）
	レンズ構成	6群7枚（E3200）；5群6枚（E2200）
電子ズーム		最大4倍（35mm 判換算で約460mm［E3200］/ 約430mm［E2200］相当）
オートフォーカス		コントラスト検出方式、AF補助光付（E3200のみ）
	撮影距離	レンズ前約30cm～∞（マクロモード時は約4cm（ズームのワイドポジション）～∞）
	AFエリア	中央 アシスト機能付きシーンモード選択時は5カ所より自動選択
	AF補助光	クラス 1 LED製品（IEC60825-1 Edition 1.2-2001） 最大出力値700μW
ファインダー		実像式ズームファインダー、LED表示
	倍率	0.34 ～ 0.94
	視野率	上下左右とも約82%（E3200）約80%（E2200）
液晶モニタ		1.6型低温ポリシリコンTFT液晶、80,000画素
	視野率（撮影時）	上下左右とも約96%（対実画面）

記録形式	記録媒体	内蔵メモリ（容量：約14.5MB）/SDカード
	画像ファイル	Design rule for Camera File System（DCF）、Exif 2.2準拠、Digital Print Order Format(DPOF) 準拠
	ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline準拠 動画：QuickTime
露出	測光方式	マルチ測光（256分割）、5点AF測光ポイント（アシスト機能付きシーンモードでガイド表示時）対応
	露出制御	プログラムオート 露出補正（－2～＋2EV、1/3EVステップ）可能
	露出連動範囲	広角側：EV1 ～ EV17.8（E3200）；EV0.8～EV17.7（E2200） 望遠側：EV2.6 ～ EV16.2（E3200）；EV2.5～EV16.2（E2200）
シャッター		メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
	シャッタースピード	4～1/3000秒
絞り		電磁駆動による開口選択方式
	制御段数	2（F2.8、F5.6［広角側］）（E3200） 2（F2.6、F5.2［広角側］）（E2200）
撮像感度		ISO50相当、オートゲインアップ機能あり（最高ISO200相当まで）
セルフタイマー		10秒
内蔵スピードライト	調光範囲	広角側：約0.4～約3.4m（E3200）；約0.4～約3.7m（E2200） 望遠側：約0.4～約2.0m
	調光方式	自動調光制御
インターフェース		USB
ビデオ出力		NTSC、PALから選択可能
入出力端子		• DC入力 • オーディオビデオ出力/デジタル端子（USB）（E3200） • ビデオ出力/デジタル端子（USB）（E2200）
電源		• 単三形アルカリ乾電池　2本 • リチャージャブルバッテリーEN-MH1（ニッケル水素電池）2本 • リチウム電池CR-V3　1本 • 単三形ニッケルマンガン電池 2本、単三形ニッケル乾電池 2本、または単三形リチウム電池 2本 • ACアダプタEH-62B
連続撮影コマ数		E3200：約140コマ（アルカリ乾電池使用時）／約320コマ（EN-MH1使用時）／約550コマ（CR-V3使用時） E2200：約150コマ（アルカリ乾電池使用時）／約350コマ（EN-MH1使用時）／約600コマ（CR-V3使用時） ※測定条件は当社条件（常温、撮影毎にズーム、2回に1回の割合でスピードライト撮影、画像モード「標準」）によります。

大きさ		約88（W）× 65（H）× 38（D）mm
質量（重さ）		約140g（バッテリー、SDカード除く）
動作環境	温度	0～40℃
	湿度	85%以下（結露しないこと）

仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、リチャージャブルバッテリー EN-MH1をフル充電で使用時のものです。

Design rule for Camera File system（DCF）について

E3200/E2200は、Design rule for Cam era File system（DCF）に準拠しています。DCFは、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。

Exif ※ Version 2.2について

E3200/E2200は、Exif Version2.2に対応しています。Exif Version 2.2は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。Exif Version 2.2対応のプリンターを使用することで、撮影時のカメラ情報を活かし、プリンターが最適なプリント出力を提供することができます。プリンターの使用説明書を読んでご使用ください。

※ Exif = Exchangeable image file format

索引

英数・マーク

1コマ再生モード 32
ACアダプタ 19,65,107
AF-MODE.................................... 69
AF補助光.............................. 12,35
AFランプ.............................. 13,30
AFロック 31
AVケーブル................................ 54
BSS 79
CR-V3 18
DPOF 58
DSCN.. 33
EH-62B 19,65,107
EN-MH1 18,19
PictBridge............................ 62,65
Quick Timeムービーファイル...... 67
RSCN 33
SDカード............................ 20,107
SDカードの
初期化.............................. 21,103
SSCN 33
TV再生 67
USB.. 55
USBケーブル 56,62
USB端子 13
.JPG 33
.MOV................................. 33,67
.WAV.. 33
(T)ボタン 13,28,50,51,52,53,70
(W)ボタン
.... 13,28,50,51,52,53,70
(再生)ボタン 13
(削除)ボタン 13,50,51,53,70
オート撮影モード 16,26
SCENE シーンモード 16,38,44
SET UP セットアップモード 16
動画モード 16

ア

赤目軽減自動発光....................... 34
赤目軽減ランプ 12
アシスト機能付き
シーンモード 38,39
圧縮率.. 74
アルカリ乾電池 18,19
打ち上げ花火 47
海・雪 45
液晶モニタ...................... 13,15,29
オーディオビデオ出力端子 13
オート撮影モード................. 16,26
オートパワーオフ............... 23,102
オートフォーカス....................... 69
オープニング音 100
オープニング画面...................... 93
音声メモ 53
音量 53,70,100

カ

拡大表示モード 51
拡張子....................................... 33
画像コピー................................ 89
画像サイズ................................ 74
画像モード.......................... 26,73
カメラ再生................................ 67
画面の明るさ 99
感度 35
逆光 47
強制発光 34
クール....................................... 80
クローズアップ 46
蛍光灯....................................... 75
光学ズーム................................ 28

サ

再生 54,55
再生メニュー 81
削除 83

撮影可能コマ数 26,74
撮影メニュー 71
サムネイル再生モード 50
三脚 45,49
シーンモード 16,38,44
識別子 33
時差 95
自動発光 34
シャッター音 100
シャッターボタン 12,17
初期化 21,103
白黒 80
ズーム 28
ズームボタン 13,28
スピーカー 12
スピードライト 12,34,75
スピードライトモード 26,35
スピードライトランプ 13,30
スポーツモード 16,42
スモールピクチャー 88
スライドショー 82
スリープモード 23,102
スローシンクロ 34
設定音 100
設定クリア 105
セットアップメニュー 92
セットアップモード 16
セピア 80
セルフタイマー 36
セルフタイマーランプ 12
操作音 100

タ

タイムゾーン 95
太陽光 75
ダイレクトプリント 62
単写 78
誕生日カウンター 98
長時間再生 67
デート写し込み 97
手ブレ 35,45
手ブレお知らせ 101
テレビ 54
電球 75
電源 18,22
電源スイッチ 12,22
電源ランプ 12,23
電子ズーム 28,29
転送マーク設定 86
電池設定 18,106
曇天 75
動画再生 70
動画撮影 66
動画設定 68
動画モード 16
トリミング 52
トワイライト 46

ナ

内蔵メモリの初期化 103
夏時間 24
日時設定 24,94
ニッケル乾電池 18
ニッケルマンガン電池 18

ハ

バージョン情報 106
パーティー 45
パソコン 55
バックアップ電池 25
発光禁止 34
バッテリーチェック表示 22
バッテリーチャージャー 107
パノラマアシスト 48
ピクチャーカラー 80
ピクトブリッジ 62
日付 61
日付と時刻 24

ビデオケーブル........................... 54
ビデオ出力........................... 54,104
ビデオ出力端子......................... 13
ビデオモード 54
ビビッドカラー.......................... 80
表示言語/LANGUAGE............... 104
標準カラー................................ 80
ピント 17,30
ファイル名................................ 33
ファインダー 12,13,29
風景モード 16,41
フォルダ名................................ 33
プリセットホワイトバランス..... 76
プリンタ 62
プリント 58,62
プリント指定............................ 58
プロテクト設定......................... 85
ポートレートモード 16,40
ホワイトバランス 75

マ

マイク...................................... 12
マクロモード 37
マルチセレクター 13,17
マルチ連写................................ 78
ミュージアム 47
メモリ残量................................ 27
メモリの初期化....................... 103
モードダイヤル.................... 13,16
モニタ設定................................ 96
モノクロコピー 47

ヤ

夜景 46
夜景ポートレートモード ... 16,43
夕焼け 45

ラ

リチウム電池............................ 18
リチャージャブル
バッテリー.......................... 18,107
連写 78
レンズ....................................... 12
露出補正 77

ワ

ワールドタイム 94

アフターサービスについて

■この製品の操作方法についてのお問い合わせは

この製品の操作方法について、さらにご質問がございましたらニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご参照ください。

● **お願い**

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■製品の修理に関するお問い合わせは

ニコンカメラ販売株式会社　サービス部
〒 **140 - 0015**　東京都品川区西大井 **1-6-3**
TEL 03 - 3773 - 2221　受付時間：祝日を除く月～金（**9：00 ～ 17：45**）
※ このほか年末年始、夏期休暇など、都合により休業する場合があります。

◆当サービス部では、修理品の直接受け付けならびに受け渡しに関する業務は行っておりません。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、使用説明書裏面をご参照ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。
- 修理に出されるときに、SD メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店、またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社Webサイトでご覧いただくことができます。
  http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm
- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

TEL　0570-02-8000　　FAX　03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください。

お問い合わせ年月日：　　　　年　　月　　日

お買い上げ年月日：　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　□会社
〒

TEL：
FAX：

ご使用のパソコンの機種名：

メモリ容量：　　　　ハードディスクの空き容量：

OSのバージョン：　　　　ご使用のインターフェースカード名：

その他接続している周辺機器名：

ご使用のアプリケーションソフト名：

ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン：

問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください。）

※このページはコピーしてお使いください。　整理番号：

アフターサービスのご案内

技術的なお問い合わせのご案内

内容および操作に関する技術的なお問い合わせは、下記ニコンカスタマーサポートセンターをご利用ください。

ニコンカスタマーサポートセンター

0570-02-8000

市内通話料金でご利用いただけます。

全国共通電話番号 **0570-02-8000** にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

営業時間9:30～18:00＜年末年始、夏期休暇等を除く毎日＞

携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033**におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499**におかけください。

株式会社 ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
TR4C04 (10)
6MAA9510-B